

石川県こころの健康センター所報

第 38 号

(平成27年度実績)

石川県こころの健康センター

— 2016 —

目 次

こころの健康センター概要

1 沿 革	1
2 施設の概況	3
3 組織・機構	4
4 業 務	6

平成27年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務	
（1）精神障害者保健福祉手帳の交付	8
（2）自立支援医療費（精神通院医療）支給認定	9
（3）精神医療審査会	11
2 相談課業務	
（1）技術指導及び技術援助	13
（2）教育研修	15
（3）普及啓発	18
（4）精神保健福祉相談	23
（5）組織育成	31
（6）調査研究等	35
（7）ひきこもり社会参加復帰支援事業	36
（8）依存症関連問題指導事業	40
（9）ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業	43
（10）自殺予防対策推進事業	44
（11）子どもの心のケア推進事業	52
（12）精神障害者地域生活支援事業	58
3 支援課（発達障害支援センター）業務	
（1）発達障害児（者）及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援 ...	59
（2）精神科医による相談事業	62
（3）青年期グループ活動	63
（4）就労者グループ活動	63
（5）親のつどい	63

(6) 関係機関等との調整会議	63
(7) 機関コンサルテーション	64
(8) 個別支援のための調整会議	65
(9) 普及啓発及び研修	66

資 料

1 精神保健福祉相談状況（電話・来所・訪問）	71
2 普及啓発活動	75
3 関係機関・団体との連携	76
4 家族教室及びメンタルヘルス講座	78
5 集団指導活動（精神障害者社会復帰相談指導事業）	79
6 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧	80

こころの健康センター概要

1 沿 革

- 昭和 41 年 10 月 石川県社会福祉会館内に石川県精神衛生センターが開設される。
- 昭和 56 年 11 月 金沢市南新保町ル 3-1（現所在地）に新築移転する。
- 12 月 デイ・ケア事業（～平成 25 年度）、乳幼児発達相談事業（～平成 8 年度）を開始する。
- 昭和 57 年 4 月 特定相談指導事業（アルコール関連問題、思春期精神保健に関する相談指導等）を開始する。
- 昭和 58 年 4 月 親子通所センターが石川県中央児童相談所より移管される。
同時に庶務課、相談課、訓練課の課制が施行される。
- 昭和 61 年 4 月 心の健康づくり推進事業を開始する。
- 昭和 63 年 4 月 石川県精神保健センターと名称を変更する。
痴呆性老人通所事業を開始する。（～平成 2 年度）
メンタルヘルス講座を開講する。（～平成 4 年度）
- 平成 元 年 4 月 社会復帰連絡会を開始する。（～平成 5 年度）
- 平成 3 年 4 月 こころの相談ダイヤル事業を開始する。
- 平成 6 年 4 月 こころの健康フェスタ開催事業を開始する。（～平成 10 年度）
- 平成 7 年 7 月 石川県精神保健福祉センターと名称を変更する。
- 平成 8 年 10 月 ピア・カウセリング推進事業を開始する。（～平成 18 年度）
- 平成 13 年 4 月 石川県こころの健康センターと名称を変更する。
ひきこもり当事者グループ（悠友クラブ）を開始する。
ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業を開始する。
- 平成 14 年 4 月 精神医療審査会、通院患者の公費負担及び精神障害者保健福祉手帳に関する業務が石川県健康福祉部障害保健福祉課より移管される。

- 平成 14 年 10 月 住所表示が金沢市鞍月東 2 丁目 6 番地に変更される。
- 平成 17 年 4 月 発達障害支援センターが設置される。
- 平成 18 年 4 月 親子通所センターが閉所される。(訓練課を廃止し、支援課を新設)
- 平成 20 年 9 月 石川県精神科救急情報センター「いしかわこころの救急ダイヤル」事業を開始する。
- 平成 20 年 9 月 いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業を開始する。
- 平成 21 年 5 月 ひきこもり地域支援センターが設置される。
- 平成 21 年 9 月 こころの緊急支援事業(CRT)を開始する。(～平成 26 年度)
- 平成 22 年 6 月 依存症教室を開始する。
- 平成 23 年 3 月 「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始する。
- 平成 27 年 7 月 依存症再発予防プログラムを開始する。

2 施設の概況

(1) 土地

所在地 石川県金沢市鞍月東2丁目6番地 (〒920-8201) TEL 076(238)5761

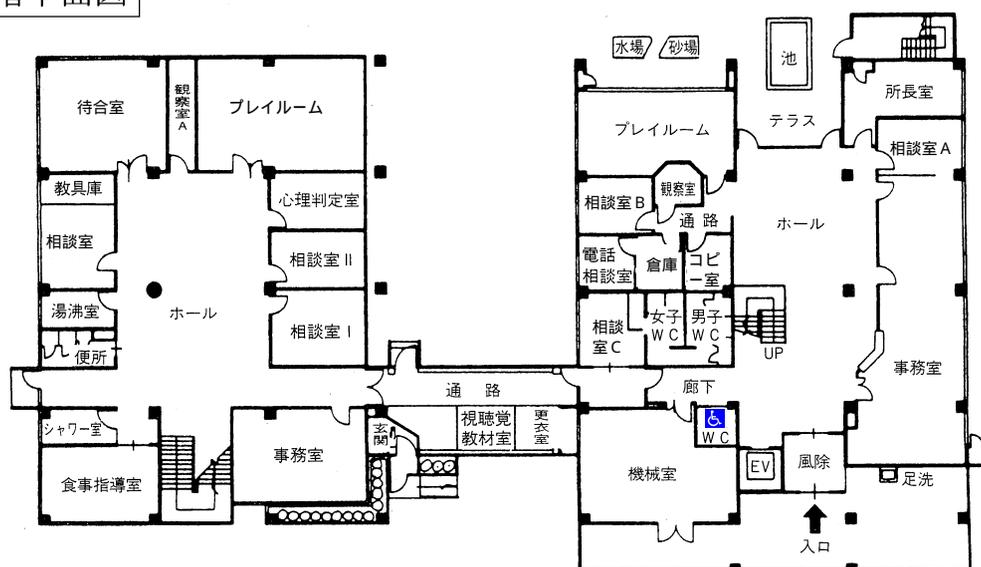
敷地 3,141㎡

(2) 建地

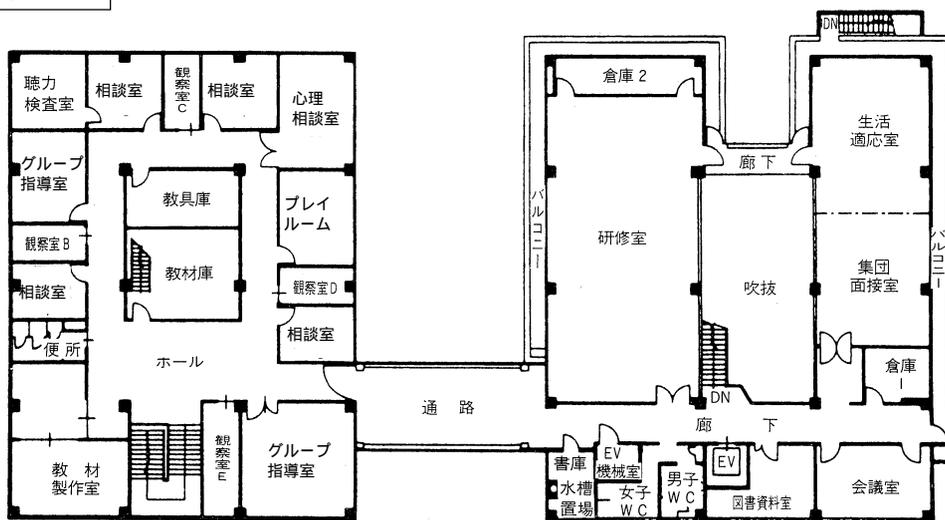
鉄筋コンクリート2階寄棟造 延1,761.26㎡

《館内平面図》

1階平面図



2階平面図

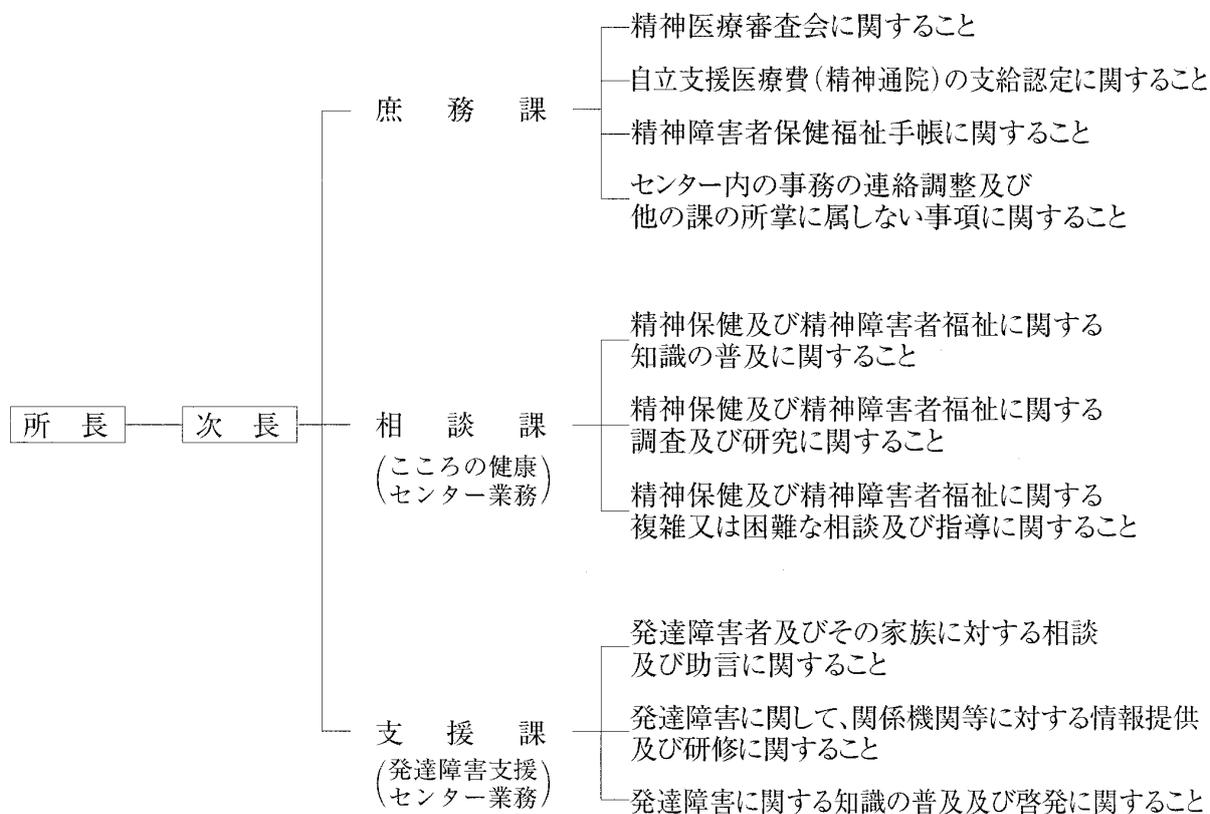


(発達障害支援センター)

(こころの健康センター)

3 組織・機構

(1) 機構



(2) 職種別職員数

(平成28年11月1日現在)

職 種		医 師	保 健 師	看 護 師	精 神 保 健 福 祉 士	福 祉 指 導 員	保 育 士	心 理 判 定 員	電 話 相 談 員	事 務 職 員	事 務 補 助 員	計
職員	常 勤		3	2	1	3		6	1	3		19
	兼 務	1										1
嘱託	常 勤			2				1			1	4
	非 常 勤	3						1	8			12
臨時職員											1	1
計		4	3	4	1	3		8	9	3	2	37

(3) 課別職員数

(平成28年11月1日現在)

課 名	職 種	職 員		嘱 託		臨時職員	計
		常 勤	兼 務	常 勤	非常勤		
所 長	医 師		1				1
次長兼庶務課長	事 務 職 員	1					1
次長兼相談課長	保 健 師	1					1
庶 務 課	看 護 師	1		2			7
	事 務 職 員	2					
	事 務 補 助 員			1		1	
相 談 課	医 師					2	19
	保 健 師	1					
	精 神 保 健 福 祉 士	1					
	福 祉 指 導 員	2					
	心 理 判 定 員	3			1		
	電 話 相 談 員	1			8		
支 援 課	医 師					1	8
	保 育 士						
	保 健 師	1					
	看 護 師	1					
	福 祉 指 導 員	1					
	心 理 判 定 員	3			1		
計		19	1	4	12	1	37

4 業 務

庶務課

平成 14 年度に石川県健康福祉部障害保健福祉課から移管された次の業務を行っている。

- (1) 精神医療審査会に関する事務
- (2) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定及び精神障害者保健福祉手帳に関する事務

相談課

相談課は精神保健福祉センター業務を担い、「精神保健福祉センター運営要領」（平成 8 年 1 月 19 日健医発第 57 号厚生省保健医療局長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 企画立案
地域精神保健福祉を推進するため、県本庁及び関係諸機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進方策や、地域における精神保健福祉施策の計画的推進に関する事項等を含め、精神保健福祉に関する提案、意見具申等をしている。
- (2) 技術指導及び技術援助
地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町及び関係諸機関に対し、専門的立場から、技術指導及び技術援助を実施している。
- (3) 教育研修
保健所、市町及び福祉事務所、社会復帰施設その他の関係諸機関で精神保健福祉業務に従事する職員の技術的水準の向上を図るための専門的研修を実施している。
- (4) 普及啓発
県民の心の健康づくり対策として、精神保健福祉の知識、精神障害についての正しい知識の普及を行うため、講演会の開催やパンフレット及びパネルの作成をするとともに、ビデオやDVDの貸出をしている。また、保健所、市町及び関係諸機関で開催する講演会や研修会に講師を派遣している。
- (5) 精神保健福祉相談
幼児から老人まで、また自分自身のことから家族等に至るまで、広く心の問題に関する面接及び電話相談に応じている。また、精神保健福祉相談の円滑な推進を図るための会議を開催するなど関係諸機関との連携を図っている。
- (6) 組織育成
地域精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による家族会等の関係団体の育成に努め、活動を支援している。
- (7) 調査研究
地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障害者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究を実施するとともに、精神保健福祉に関する統計及び資料の収集整備に努めている。

- (8) ひきこもり社会参加復帰支援事業
ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図っている。
- (9) 特定相談指導事業
アルコールや薬物などの特定相談に応じるとともに、それら関連問題の発生を予防するために、正しい知識の普及のための講演会や、当事者家族のための依存症教室や依存症再発予防プログラムを開催している。
- (10) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業
ドメスティック・バイオレンスに悩む男性のための相談窓口を開設している。
- (11) 自殺予防対策推進事業
平成 19 年度に策定された「石川県自殺対策行動計画」に基づき、関係諸機関と連携し、誰もが相談しやすい窓口の設置や自殺予防講演会などの普及啓発、支援者の資質向上のための研修会の開催、未遂者支援体制整備や自死遺族のケアを行っている。
- (12) 子どもの心のケア推進事業
子どもの心の問題について、地域で安心して相談できる体制づくりを目指した相談対応や事例検討会、関係者育成セミナーなどを平成 20 年度から実施している。

支援課（発達障害支援センター）

支援課は発達障害者支援センター業務を担い「発達障害者支援センター運営事業の実施について」（平成 17 年 7 月 8 日障発第 0708004 号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）により、次の業務を行っている。

- (1) 発達障害児(者)及びその家族等に対する相談支援
- (2) 発達障害児(者)及びその家族等に対する発達支援
- (3) 発達障害児(者)及びその家族等に対する就労支援
- (4) 関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修
(関係施設及び関係機関等との連携)

平成27年度こころの健康センターの活動概要

1 庶務課業務

(1) 精神障害者保健福祉手帳の交付

制度の概要

一定の精神障害者の状態にあることを証する手段となり、手帳の交付を受けた者に対し、各方面からの協力により各種の支援策が高じられることを促進し、もって精神障害者の社会復帰及び自立と社会参加の促進を図ることを目的として、平成7年に創設された。

対象者

精神疾患（知的障害を除く）を有する者のうち、精神障害のため長期にわたり日常生活又は社会生活への制約がある者。

障害等級

- 1級 日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
- 2級 日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの
- 3級 日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

交付手続き

申請書に写真（上半身）とア又はイの書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 医師の診断書

精神障害に係る初診日から6か月を経過した日以後に作成されたもの

イ 年金証書等

精神障害を支給事由とする障害者年金または特別障害給付金を現に受給していることを証する書類の写し

審査及び判定

診断書添付による申請の場合、手帳の交付の可否及び障害等級の判定については、精神保健指定医を委員とする石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で行われる。委員は7名（会議はメンバー持ち回りの4名出席で開催）で、平成27年度は22回開催した。

手帳の有効期間

2年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

手帳に基づく各種支援策

税制上の優遇措置や生活保護の障害者加算、公共交通機関の運賃割引、公共施設の利用料割引などの支援が受けられる。

表 1 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：件)

区 分		計	新 規		更 新				
			診断書	年金	診断書	年金			
平成 23年度	申請	2,849	1,461	1,388	612	350	849	1,038	
	交付	1級	330	208	122	65	25	143	97
		2級	2,124	1,026	1,098	425	282	601	816
		3級	330	179	151	91	37	88	114
		計	2,784	1,413	1,371	581	344	832	1,027
平成 24年度	申請	2,887	1,435	1,452	574	285	861	1,167	
	交付	1級	311	191	120	55	23	136	97
		2級	2,200	1,036	1,164	409	224	627	940
		3級	321	182	139	93	30	89	109
		計	2,832	1,409	1,423	557	277	852	1,146
平成 25年度	申請	3,260	1,697	1,563	651	362	1,046	1,201	
	交付	1級	283	168	115	48	24	120	91
		2級	2,515	1,300	1,215	509	275	791	940
		3級	415	224	191	91	51	133	140
		計	3,213	1,692	1,521	648	350	1,044	1,171
平成 26年度	申請	3,387	1,640	1,747	660	377	980	1,370	
	交付	1級	267	147	120	35	24	112	96
		2級	2,646	1,231	1,415	492	300	739	1,115
		3級	426	248	178	123	41	125	137
		計	3,339	1,626	1,713	650	365	976	1,348
平成 27年度	申請	3,835	1,976	1,859	754	362	1,222	1,497	
	交付	1級	288	159	129	52	25	107	104
		2級	2,978	1,531	1,447	578	275	953	1,172
		3級	505	274	231	118	46	156	185
		計	3,771	1,964	1,807	748	346	1,216	1,461

(2) 自立支援医療費(精神通院医療)支給認定 制度の概要

障害者等が、その心身の障害の軽減を図り、自立した日常生活を営むために必要な医療を受けるに際して、その医療費の一部を公費で負担する制度である。即ち、医療費に対して各医療保険制度が適用された後、患者の自己負担額を医療費の1割とし(ただし、世帯の所得に応じて負担上限月額の設定あり)、残りを公費負担とする。

対象者

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に定める精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に必要とする程度の病状にある者。また、症状が殆ど消失している者であっても、障害の程度が軽減している状態を維持し、又は障害の再発を予防するために入院によらない治療を続ける必要がある場合も対象となる。

申請手続き

申請書にア又はイの場合における書類を添えて、居住地を管轄する市町長を経て、県知事に提出する。

ア 支給認定の申請のみを行う場合

自立支援医療（精神通院医療）の診断書、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

イ 手帳の新規交付又は再交付の申請と併せて支給認定の申請を行う場合

精神障害者保健福祉手帳用の診断書及び治療の投薬内容がわかる手帳用診断書投薬内容届、被保険者証など医療保険の加入関係を示すもの、受診者の属する「世帯」の所得の状況等が確認できる資料

高額治療継続者については「重度かつ継続」に関する意見書

支給認定

精神通院医療の要否については、石川県自立支援医療（精神通院）等判定会議で判定が行われ、県知事はその結果を受けて支給認定を行うかどうかを決定する。

支給認定の有効期間

1年間 更新申請は有効期限の3か月前から可能

受給者証の交付

支給認定が行われた申請者に対し、指定医療機関や自己負担上限月額、有効期間等を記載した自立支援医療受給者証（精神通院）を交付する。

表2 自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定状

（単位：件）

年度	計	保険者別内訳				
		被用者 保険本人	被用者 保険家族	国民健康 保険	生活 保護者	その他
平成23	13,060	2,149	2,925	6,449	1,404	133
平成24	13,122	2,165	2,766	6,456	1,607	128
平成25	14,060	2,390	3,026	6,770	1,716	158
平成26	14,522	2,549	3,123	6,849	1,821	180
平成27	15,235	2,847	3,191	7,049	1,960	188

表3 手帳所持者数及び支給認定者数の各年度末推移

年 度	手 帳 所 持 者 数				支給認定者数
	1 級	2 級	3 級	計	
平成18	607	2,355	501	3,463	9,582
平成19	631	2,591	475	3,697	9,547
平成20	662	2,880	481	4,023	9,890
平成21	683	3,239	484	4,406	10,731
平成22	697	3,541	502	4,740	11,685
平成23	687	3,973	572	5,232	12,275
平成24	622	4,256	620	5,498	12,885
平成25	578	4,683	721	5,982	13,532
平成26	532	5,070	814	6,416	14,074
平成27	538	5,475	911	6,924	14,577

表4 市町別手帳所持者数及び支給認定者数（平成28年3月31日現在）

区 分		加賀市	小松市	能美市	川北町	白山市	野々市市	金沢市	かほく市	津幡町	内灘町
手 帳	1級	30	37	23	1	36	18	265	13	12	2
	2級	265	354	201	15	546	212	2,635	165	121	113
	3級	80	106	46	5	97	37	332	26	25	15
	計	375	497	270	21	679	267	3,232	204	158	130
通 院		815	1,303	560	49	1,170	542	6,318	438	379	293
区 分		羽咋市	志賀町	宝達志水町	七尾市	中能登町	輪島市	穴水町	能登町	珠洲市	合計
手 帳	1級	9	6	10	40	9	8	2	11	6	538
	2級	82	59	47	310	86	116	28	80	40	5,475
	3級	16	17	11	39	17	16	3	13	10	911
	計	107	82	68	389	112	140	33	104	56	6,924
通 院		268	212	148	929	272	341	128	234	178	14,577

(3) 精神医療審査会
設置の根拠法令

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第12条

審査会の業務

病院からの次の病状報告や精神障害者の退院請求等に対して入院継続の要否又は処遇の適否を審査する。

ア 措置入院者の定期病状報告、医療保護入院者の定期病状報告、医療保護入院者退院支援審議記録、医療保護入院者の入院届、入院診療計画書

イ 入院中の者又はその家族等からの退院請求又は処遇改善の請求

委員構成

委員 10人（医療委員6人、法律家委員2人、有識者委員2人）

予備委員6名（医療予備委員2名 法律家予備委員2名 有識者予備委員2名）

合議体

審査会には5人で構成する合議体を2つ置き、審査は月1回交互に行う。

平成27年度の開催実績

審査会12回、全体会議1回

表5 精神医療審査会の審査状況

年 度	退院等の請求			措置入院者の定期病状報告		医療保護入院者の定期病状報告		医療保護入院者の入院届		審査件数合計	
	審査件数	面接件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等	審査件数	入院形態の変更等
平成18	22	22	-	19	-	1,151	-	1,968	-	3,160	-
平成19	22	22	-	21	-	1,151	-	2,143	-	3,337	-
平成20	24	23	-	17	-	1,184	-	2,214	-	3,439	-
平成21	30	26	-	23	-	1,253	-	2,310	-	3,616	-
平成22	27	23	-	23	-	1,234	-	2,348	-	3,632	-
平成23	50	33	-	31	-	1,316	-	2,343	-	3,740	-
平成24	37	33	-	31	-	1,314	-	2,487	-	3,869	-
平成25	34	25	-	30	-	1,287	-	2,577	-	3,928	-
平成26	29	29	-	25	-	1,294	-	2,683	-	4,031	-
平成27	39	37	-	27	-	1,235	-	2,833	-	4,134	-

: 入院形態の変更等の欄は、審査会において退院が適当又は他の入院形態が適当との意見が示された件数

2 相談課業務

(1) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するために、保健所及び関係機関に対し職員等を派遣するなど専門的な立場から技術援助を行っている。

平成 27 年度の技術援助回数は 1,230 回で、支援内容としては、関係機関との連絡調整が 403 回(32.8%)と一番多かった(表 1)。

保健所(県保健福祉センター及び金沢市福祉健康センター、以下「保健所」とする。)には 170 回(13.8%)で、保健所以外の行政・教育・福祉等の関係機関には 1,060 回(86.2%)であった(表 2、表 3)。

表 1 技術援助回数

区分	計	事例 検討会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	協力 組織 の育 成	関係 機関と の連絡 調整	患者ク ラブ活 動等の 援助	情報 提供・ その 他
合計	1,230	37	221	199	11	403	25	334

ア 保健所

平成 27 年度における保健所からの要請による技術援助は 170 回で、関係機関との連絡調整が 51 回と一番多く、次いで相談訪問指導が 38 回であった(表 2)。

表 2 保健所への技術援助及び技術指導回数

区分	計	事例 検討会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	協力 組織 の育 成	関係 機関と の連絡 調整	患者ク ラブ活 動等の 援助	情報 提供・ その 他
南加賀保健福祉センター	50	2	11	7		7	10	13
石川中央保健福祉センター	37	1	12	2		12	2	8
能登中部保健福祉センター	30		2	2		14	4	8
能登北部保健福祉センター	24			6		10	5	3
金沢市福祉健康センター	29		13	2		8	1	5
合計	170	3	38	19		51	22	37

イ 関係機関（保健所を除く）

平成 27 年度の保健所以外の行政や教育、医療機関等の関係機関への技術援助は 1,060 回で、関係機関との連絡調整が一番多く 352 回、次いで情報提供・その他の 297 回であった（表 3）。

関係機関の区分別では国・県への技術援助が 295 回と一番多く、次いで医療 168 回、教育 121 回、市町 112 回の順になっている（表 3）。

表 3 関係機関（保健所を除く）への技術援助及び技術指導回数

区 分	計	事例 検討会	相談 訪問 指導	知識 普及・ 保健 活動	協力 組織の 育成	関係 機関と の連絡 調整	患者ク ラブ活 動等の 支援	情報 提供・ その他
国 ・ 県	295	4	25	34	3	141	2	86
市 町	112	1	6	30		33		42
医 療	168	2	52	12	2	35		65
福 祉	20	3	3	4		6		4
教 育	121	9	35	29		25		23
労 働	68	7	28	2		22		9
各種精神保健団体	73		2	29	4	20		18
学生教育・実習	8			2				6
障害者支援施設等	85	7	23	11		34	1	9
司 法	33	1	7	7		13		5
そ の 他	77		2	20	2	23		30
合 計	1,060	34	183	180	11	352	3	297

ウ 学生実習

学 校 名	実施日数	受講者数
金沢工業大学大学院（臨床心理学専攻）	1 日	3 人

(2) 教育研修

平成 27 年度は、保健所および精神保健福祉に関する諸機関の職員を対象にした研修会を 6 回開催した。

ア 精神保健福祉担当者初任者研修会

地域における精神保健福祉医療業務が円滑に推進されるように、保健福祉医療関係機関の職員で精神保健福祉の担当として初任者（2 年未満）を対象に、相談に係る基礎知識の習得や技術の向上を図ることを目的に初任者研修を実施した。

日時	内 容	参加数
平成 27 年 5 月 18 日 (月)	講義 「精神障害者に関する基礎知識～理解と援助～」 こころの健康センター 所長 角田 雅彦	50 人
	講義 「石川県における精神保健福祉行政」 県障害保健福祉課 医療支援グループリーダー 石原 雅子	
	講義 「権利擁護に関する基礎知識」 県障害保健福祉課 医療支援グループ専門員 岩尾 貴	
	講義 「精神保健福祉法 ～入院形態・自立支援医療・精神保健福祉手帳～」 こころの健康センター 相談課担当課長 飯田 芳枝 庶務課主任主事 西野 邦枝 庶務課主事 沢井 章悟	
	グループワーク 「日頃の相談支援活動から思うこと」	
平成 27 年 5 月 25 日 (月)	講義 「こころの健康センターの活動概要」 こころの健康センター 相談課長 道下 篤子	48 人
	講義 「発達障害支援センターの活動概要」 こころの健康センター 支援課長 高野 行秀	
	講義 「精神障害者の社会資源の活用」 こころの健康センター 相談課担当課長 川本 晶広	
	講義 及び演習「インテーク面接～相談における留意点」 こころの健康センター 相談課専門員 久保 かおり	
	講義 「ひきこもりの理解と支援」 こころの健康センター 相談課担当課長 川本 晶広	
	講義 「薬物依存の理解と支援」 こころの健康センター 相談課主任主事 望月 真奈美	

イ 自殺予防関連研修会

(ア) ゲートキーパーリーダー養成研修会 (詳細は P48 参照)

日 時	平成 27 年 8 月 21 日 (金) 13:30 ~ 16:30
内 容	講 演 : 「自殺予防とメンタルヘルス」 講 師 : こころの健康センター所長 角田 雅彦 (精神科医)
参加者	保健・医療における自殺対策担当者等 20 人

(イ) 救急告示医療機関職員等に対する研修会 (詳細は P49 参照)

日 時	平成 27 年 10 月 1 日 (木) 13:30 ~ 15:30
内 容	講 演 : 「救急センターを出発点とした自殺未遂者ケア」 講 師 : 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所精神薬理研究部部长 山田 光彦 (精神科医)
参加者	保健・医療 (救急告示医療機関、精神科)・消防署等 55 人

ウ 子どものこころの問題に携わる関係者育成セミナー (詳細は P55 ~ 56 参照)

< 1 回目 >

日 時	平成 27 年 8 月 4 日 (火) 13:30 ~ 15:30
内 容	講演 : 「子どものうつとその対応 ~ 家族や教員の関わり方を中心に ~」 講師 : 北海道大学大学院保健科学研究院 生活機能学分野教授 傳田 健二 (精神科医)
参加者	保健・医療・教育・福祉関係者等 64 人

< 2 回目 >

日 時	平成 27 年 10 月 5 日 (月) 10:00 ~ 15:30
内 容	(1) 事業報告 : 県少子化対策監室母子・食育グループ担当 (2) 実践報告 「内灘町の幼児健康診査の取り組み～早期療育を目指した幼児健診を考 える～」 内灘町保健年金課 中井七美子・蔵谷梨絵 (3) 講演「幼児健診における発達障害の早期発見と支援について ～乳幼児健診の役割～」 講師 : 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部部長 神尾 陽子 (児童精神科医)
参加者	保健・医療・福祉関係者等 59 人

< 3 回目 >

日 時	平成 27 年 11 月 7 日 (土) 13:30 ~ 15:30
内 容	講演 : 「不登校の子どもたちへの対応とその予後 ～教育・家族の対応を中心に～」 講師 : 社会福祉法人恩師財団母子愛育会愛育研究所 児童福祉研究部長・愛育相談所長 齋藤 万比古 (児童精神科医)
参加者	保健・医療・教育・福祉関係者等 87 人

(3) 普及啓発

一般県民等を対象として、精神保健福祉や心の健康に関する理解を深め、地域社会における精神保健福祉活動の推進を図ることを目的として、講演活動や各種団体などが開催する研修会への講師派遣、「センターだより」等の発行やホームページの作成、マスコミを通じての広報活動等、普及啓発を実施した。

ア 講演会

(ア) 薬物関連問題講演会 (詳細は P40 参照)

日 時	平成 27 年 6 月 28 日 (日) 13:30 ~ 16:30
内 容	講演 : 「人はなぜ依存症になるのか ~ 薬物依存の理解と援助 ~ 」 講師 : 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 自殺予防総合対策センター 副センター長 松本 俊彦 (精神科医)
参加者	一般県民、保健・医療・福祉・司法関係従事者等 100 人

イ 講師を派遣した講演会

	派 遣 先	内 容	回数	参加人数
国	金沢地方气象台	軽症うつ病への予防と対策について	1	20 人
	金沢保護観察所	薬物依存に関する保護司特別研修「石川県こころの健康センターにおける薬物依存からの回復に向けての取組みについて」	1	40 人
県	県警本部	障がい者への理解と対応について	1	14 人
	消防学校	メンタルヘルスと惨事ストレス	2	36 人
		メンタルヘルス (サービスと勤務)	2	68 人
	自治研修センター	職場のメンタルヘルス	2	130 人
	労働委員会	うつ病の傾向のある相談者との接し方について	1	21 人
	女性センター	心の病をかかえている相談者への対応について	1	10 人

	派遣先	内容	回数	参加人数
保健所	能登北部保健福祉センター	ひきこもり家族教室	1	8人
	石川中央保健福祉センター	ひきこもり家族教室	1	6人
市町	市町村職員研修所	職場のメンタルヘルス	5	344人
	金沢市消防局	消防職員の心のケア	2	200人
	能美市健康福祉課	こころの健康について	1	100人
教育	小松市立御幸中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	79人
	小松市立芦城中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	169人
	小松市立南部中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	201人
	小松市立安宅中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	72人
	小松市立板津中学校	いのちの大切さを学ぶ講演会	1	102人
	加賀市教育委員会	こころに不安を抱える生徒への対応～摂食障害・パニック障害・境界性パーソナリティ障害～	1	5人
	川北町教育委員会	教職員のメンタルヘルス講話	1	60人
	石川県高等学校校長協会人権教育特別委員会	性同一性障害を理由とする差別をなくすために	1	12人
	金沢看護専門学校	若い世代のこころの健康づくり「ゲートキーパー研修」	1	100人
	石川県理容美容専門学校	若い世代のこころの健康づくり「ゲートキーパー研修」	1	210人
柔道整復師学校	若い世代のこころの健康づくり「ゲートキーパー研修」	1	100人	
医療	能美市立病院	自殺防止研修会「こころの健康・医療者としての関わりについて」	1	50人
その他	長寿生きがいセンター	こころの健康について	1	60人
	若者サポートステーション	親セミナー「一人ひとりが社会参加と就労を目指して」	1	30人
	精育園	精神障害の理解に関する講義	1	24人
	小松能美メンボラ友の会	障がい者への理解と対応	1	30人
	公益社団法人日本クレジットカウンセリング協会	精神疾患やひきこもり等の傾向にある相談者への接し方、留意点等について	1	30人
計			38	2,331人

ウ 自殺予防街頭キャンペーン

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年、9月10日から16日までの一週間を「自殺予防週間」として設定し、県民に自殺予防の呼びかけやうつ病等の精神疾患に対する正しい知識や相談窓口等の周知について普及啓発することを目的に街頭キャンペーンを実施した。

- 日 時 平成27年9月10日(木) 7:30～8:30
 場 所 JR金沢駅東口、香林坊大和前
 内 容 ・街頭での自殺予防の呼び掛け
 ・啓発用グッズの配布(オリジナル付箋、クリアファイル、ティッシュ等)
 ・キャンペーンのぼりの設置

エ 自殺予防に関する普及啓発資料

媒 体	内 容	発行部数
チラシ	講演会・フロアディスカッション・相談会 「現代の子どもの育ちを考える - 家庭・教育・環境・ネット社会 - 」	10,000部
	講演会・パネルディスカッション 「こころを結ぶ地域のつながり～すこやかに安心して暮らすために～」	10,000部
	こころの医療機関・困りごとの相談機関一覧	5,000部
ポスター	講演会・フロアディスカッション・相談会 「現代の子どもの育ちを考える - 家庭・教育・環境・ネット社会 - 」	50部
	講演会・パネルディスカッション 「こころを結ぶ地域のつながり～すこやかに安心して暮らすために～」	20部
パンフレット	大切な人を自死でなくされたあなたへ	600部
冊子	自殺未遂者への支援の方法	1,000部

オ 障害者ふれあいフェスティバル

障害者の自立と社会参加の意欲を高め、並びに県民の障害者に対する理解と認識をより一層高めることを目的に開催される事業で、平成 27 年度は第 20 回となる。

当初、知的障害と身体障害の 2 障害合同形式で開催されていたものだが、平成 11 年度から精神障害関係団体が加わり 3 障害合同で開催されている。

日 時 平成 27 年 10 月 11 日 (日) 10:00 ~ 16:00
場 所 石川県産業展示館 4 号館
参加者 約 15,000 人
内 容 福祉相談コーナー (こころの健康相談)

カ 普及啓発資料

こころの健康センターの事業の紹介や精神保健の動向について発行した。

媒体	内 容	発行部数
センター だより	第 84 号 特集「若者の生きづらさ～周囲の大人ができること～」 第 85 号 特集「薬物依存症」	各 600 部
講演録	平成 27 年度薬物関連問題講演会 「人はなぜ依存症になるのか～薬物依存の理解と援助～」	300 部
冊子	認知行動療法テキスト「いしかわ～ぷ」(本人向け) " (支援者向け)	100 部 100 部

キ マスコミ活用

期 日	内 容	報 道 機 関
H27. 5.28	依存症教室開催案内	新聞社 1 社
H27. 9.11 10.29 11.5 11.18 11.24 11.25 11.26	11/29 自殺防止対策講演会案内	新聞社 2 社 TV 局 1 社、広報いしかわ 石川県 HP TV 局 1 社 新聞社 1 社 TV 局 1 社 TV 局 1 社
H27.11.29	11/29 こころ・からだ・くらし・悩みごとなんでも相談会について	TV 局 1 社
H27.10.26	精神保健福祉普及運動週間における行事について	新聞社 2 社
H28. 2.26 3.2	こころの健康づくりシンポジウム(3月自殺対策強化月間講演会)案内	新聞社 1 社 新聞社 3 社
H28 .3.20	こころの健康づくりシンポジウム(3月自殺対策強化月間講演会)実施報告	新聞社 1 社
H27.4 ~ H27.2	自死遺族交流会の案内	市町広報 12 市町

ク 普及啓発教材の貸出

病院や地域関係機関にビデオ、パネル等の貸し出しを行っており、平成 27 年度は 23 件の依頼があった。

ケ 関係機関情報の作成

石川県内の精神保健福祉に関する社会資源の情報をまとめ、ホームページに掲載した。

アドレス <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/shiryou.html>

(4) 精神保健福祉相談

平成27年度の精神保健福祉相談延件数は、9,559件で、電話相談が7,810件(81.7%)、来所相談が1,749件(18.3%)であり、昨年に比べ1,359件の増加で年々増加している。来所相談の新規相談は319件であった。そのうち今年度初めての新来相談件数は184件であった。また家庭訪問は、16件実施した。(表1、表2)。

性別では、「男」が5,543件(58.0%)、「女」が4,016件(42.0%)であった(表1)。

年齢別では、「50～64歳」が2,572件(26.9%)と最も多く、次いで「40～49歳」が2,198件(23.0%)、「30～39歳」が2,186件(22.9%)となっている(表3、図1)。

相談区分では、「社会復帰」が5,583件(58.4%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が1,638件、「思春期」が563件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、ひきこもりが1,070件と最も多く、次いで発達障害997件となっている(表4)。

思春期相談(対象年齢12歳～18歳)を、性別をみると「男」が311件(55.2%)、「女」が252件(44.8%)であった(表5)。

ア 電話相談

電話相談は、当センターへの電話相談及び、専用電話「こころの相談ダイヤル」への相談を合わせたもので、平成27年度の相談件数(延件数)は7,810件であり、性別で見ると男性4,312件(55.2%)、女性3,498件(44.8%)と、男性の方が814件多かった(表1)。

年齢別では、「50～64歳」が2,473件(31.7%)と最も多く、次いで「40～49歳」が2,026件、「30～39歳」1,766件の順であった(表3、図1)。

相談区分では、「社会復帰」が5,363件(66.7%)で最も多く、次いで「心の健康づくり」が735件、「うつ・うつ状態」が259件、「思春期」が257件の順であった。また相談区分をキーワードにより再掲(複数回答)すると、「発達障害」が360件(4.6%)と最も多く、次いで「ひきこもり」が231件であった(表4)。

相談内容別では「精神障害者の生活上の問題」が3,980件(51.0%)と最も多く、次いで「家庭内の問題」600件(7.7%)、「病気の治療上の問題」567件(7.3%)の順であった(表6、図2)。

電話相談における対応状況としては、「傾聴・助言」が7,040件(90.1%)と最も多く、次いで「他機関紹介」が407件(5.2%)、「来所相談の勧奨」が201件(2.6%)であった(表7)。

イ 来所相談

来所相談は、原則として予約制で、相談課職員が対応しており、必要に応じ所長または嘱託医（精神科医・小児科医）の診察を実施している。

平成 27 年度の来所相談件数（延）は 1,749 件であった（表 1）。

年齢別では、「30～39 歳」が 420 件（24.0%）と最も多く、次いで「19～24 歳」が 400 件、「25～29 歳」が 338 件の順であった（表 3、図 1）。

相談区分別では、「心の健康づくり」が 903 件（51.6%）で最も多く、次いで「思春期」が 306 件、「社会復帰」が 220 件の順であった。相談区分をキーワードにより再掲（複数回答）すると、「ひきこもり」が 839 件（48.0%）と最も多く、次いで「発達障害」が 637 件であった（表 4）。

相談内容別では、「ひきこもり」が 565 件（32.3%）と最も多く、次いで「性格・行動上の悩み」が 271 件、「不登校・学校不適應」が 212 件の順であった（表 6、図 2）。

新来相談の来所経路は、男女ともホームページや口コミにより「直接」来所してくる場合が 101 件（54.9%）と一番多い。次いで「医療機関（精神科・一般）」が 22 件、「施設・学校」が 15 件の順であった（表 8）。

来所相談における対応状況としては、「助言」が 1,623 件（92.8%）と最も多かった。来所者への診察は 50 件（うち「診断書発行」は 12 件）、検査は 76 件を実施している（表 9）。また相談結果の紹介先として、「医療機関（主に精神科）」が 75 件であった（表 10）。

来所相談による診断状況をみると、「診断保留」が 681 件（38.9%）と「不明（医師の診察を受けていない）」が 326 件（18.6%）で、約 6 割（57.5%）を占めていた。診断された方は、「心理的発達の障害」が 205 件（11.7%）と最も多く、次いで「気分（感情）障害」が 158 件（9.0%）、「神経症性障害等」が 144 件（8.2%）の順であった（表 11）。

表 1 精神保健福祉相談実施状況

	男		女		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%
電話相談	4,312	55.2	3,498	44.8	7,810	100
来所相談	1,231	70.4	518	29.6	1,749	100
初回相談	212	66.5	107	33.5	319	100
新来	111	60.3	73	39.7	184	100
継続相談	1,019	71.3	411	28.7	1,430	100
合計	5,543	58.0	4,016	42.0	9,559	100

件数は延件数

電話相談は無言 75 件を除く

表2 精神保健福祉相談件数の推移

年度	電話相談	来所相談	計	家庭訪問
H23	5,479	1,432 (238)	6,911	
H24	5,626	1,291 (236)	6,917	10
H25	5,616	2,044 (346)	7,660	74
H26	6,038	2,162 (293)	8,200	55
H27	7,810	1,749 (184)	9,559	16

注：（ ）は内数で新来相談件数

表3 年齢別相談件数

年 齢 別	電 話 相 談		来 所 相 談		合 計	
	件 数	%	件 数	%	件 数	%
0 ～ 5 歳	6	0.1	14	0.8	20	0.2
6 ～ 1 2 歳	31	0.4	9	0.5	40	0.4
1 3 ～ 1 5 歳	72	0.9	66	3.8	138	1.4
1 6 ～ 1 8 歳	147	1.9	210	12.0	357	3.7
1 9 ～ 2 4 歳	277	3.5	400	22.9	677	7.1
2 5 ～ 2 9 歳	456	5.8	338	19.3	794	8.3
3 0 ～ 3 9 歳	1,766	22.6	420	24.0	2,186	22.9
4 0 ～ 4 9 歳	2,026	25.9	172	9.8	2,198	23.0
5 0 ～ 6 4 歳	2,473	31.7	99	5.7	2,572	26.9
6 5 歳以上	187	2.4	20	1.1	207	2.2
不 明	369	4.7	1	0.1	370	3.9
合 計	7,810	100.0	1,749	100.0	9,559	100.0

※件数は延件数（電話相談は無言75件を除く）

図1 精神保健福祉相談における年齢別内訳

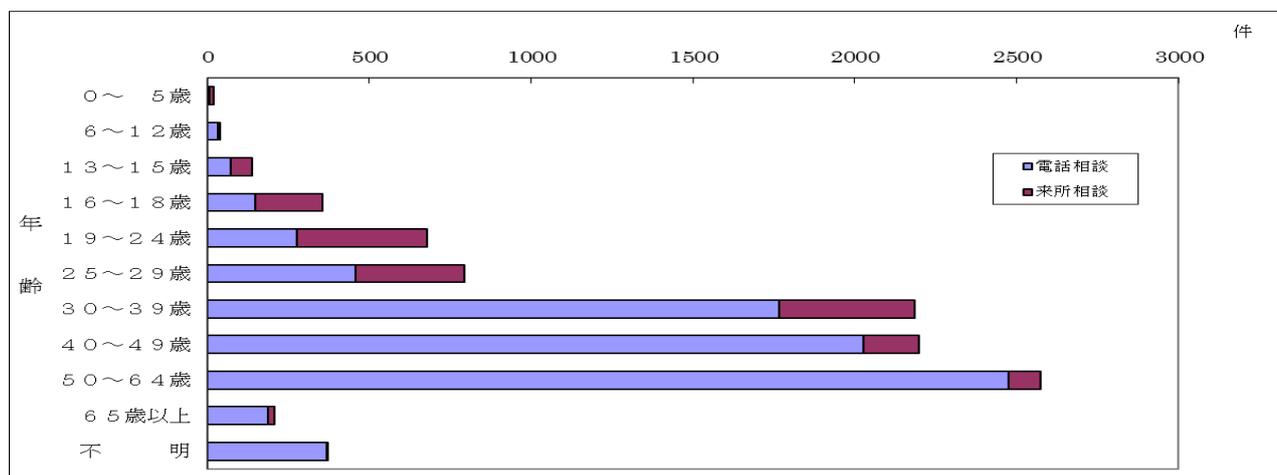


表4 相談区分別内訳

相談区分	平成27年度				平成26年度		
	電話相談	来所相談	(新来)※	合計	来所相談	(新来)	
老人精神保健	168	6	(5)	174	1	(1)	
社会復帰	5,363	220	(21)	5,583	179	(16)	
アルコール	33	13	(5)	46	17	(8)	
薬物	19	12	(3)	31	5	(2)	
ギャンブル	18	15	(6)	33	22	(5)	
思春期 ※※	257	306	(33)	563	805	(73)	
心の健康づくり	735	903	(62)	1,638	728	(77)	
うつ・うつ状態	259	158	(29)	417	279	(67)	
摂食障害	19	2	(2)	21	0	(0)	
てんかん	1	0	(0)	1	-	-	
その他	938	114	(18)	1,052	126	(44)	
計	7,810	1,749	(184)	9,559	2,162	(293)	
再掲 (*)	ひきこもり	231	839	(25)	1,070	1,133	(54)
	発達障害	360	637	(34)	997	525	(51)
	自殺	135	106	(18)	241	106	(21)
	(再)自殺者の遺族	20	20	(1)	40	14	(1)
	犯罪被害	6	26	(1)	32	2	(1)
	災害	3	3	(1)	6	0	(0)

※ 来所相談の(新来)は内数、電話相談は無言75件を除く

※※思春期は、12歳～18歳の者

* 再掲は、複数の区分に該当する場合は、それぞれに計上

表5 思春期相談(男女別:再掲)

相談区分	男	女	合計(延)
電話相談	153件	104件	257件
来所相談	158	148	306
合計	311	252	563

表6 内容別相談件数

相談内容	電話相談		来所相談		合計	
	件数	%	件数 (実)	%	件数	%
発達上の問題	30 件	0.4 %	47 件 (11)	2.7 %	77 件	0.8 %
不登校・学校不適応	131	1.7	212 (30)	12.1	343	3.6
ひきこもり	179	2.3	565 (67)	32.3	744	7.8
非行・反社会的問題	25	0.3	4 (4)	0.2	29	0.3
暴力	50	0.6	77 (15)	4.4	127	1.3
家庭内の問題	600	7.7	69 (22)	3.9	669	7.0
出産・育児上の悩み	35	0.4	3 (2)	0.2	38	0.4
更年期の悩み	6	0.1	0 (0)	0.0	6	0.1
高齢者の問題	37	0.5	4 (3)	0.2	41	0.4
仕事・職場の悩み	232	3.0	127 (37)	7.3	359	3.8
身体上の悩み	68	0.9	6 (5)	0.3	74	0.8
摂食障害	17	0.2	4 (3)	0.2	21	0.2
性格・行動上の悩み	118	1.5	271 (38)	15.5	389	4.1
対人関係上の悩み	252	3.2	96 (15)	5.5	348	3.6
アルコール問題	36	0.5	13 (6)	0.7	49	0.5
薬物問題	18	0.2	11 (4)	0.6	29	0.3
ギャンブル問題	17	0.2	13 (7)	0.7	30	0.3
アルコール・薬物以外の依存	102	1.3	38 (5)	2.2	140	1.5
性についての悩み	56	0.7	3 (2)	0.2	59	0.6
日常生活に関する心配・不安	348	4.5			348	3.6
神経症	7	0.1	21 (2)	1.2	28	0.3
精神障害への不安	53	0.7	36 (13)	2.0	89	0.9
病気の治療上の問題	567	7.3	8 (4)	0.5	575	6.0
社会復帰・デイケアの問題	371	4.8	35 (2)	2.0	406	4.2
精神障害者への対応	70	0.9	11 (8)	0.6	81	0.8
精神障害者の生活上の問題	3,980	51.0	69 (12)	3.9	4,049	42.4
情報提供	101	1.3	1 (1)	0.1	102	1.1
その他	304	3.9	5 (1)	0.3	309	3.2
合計	7,810	100.0	1,749 (319)	100.0	9,559	100.0

件数は延件数（実件数）

電話相談は無言 75 件を除く

図2 内容別相談件数

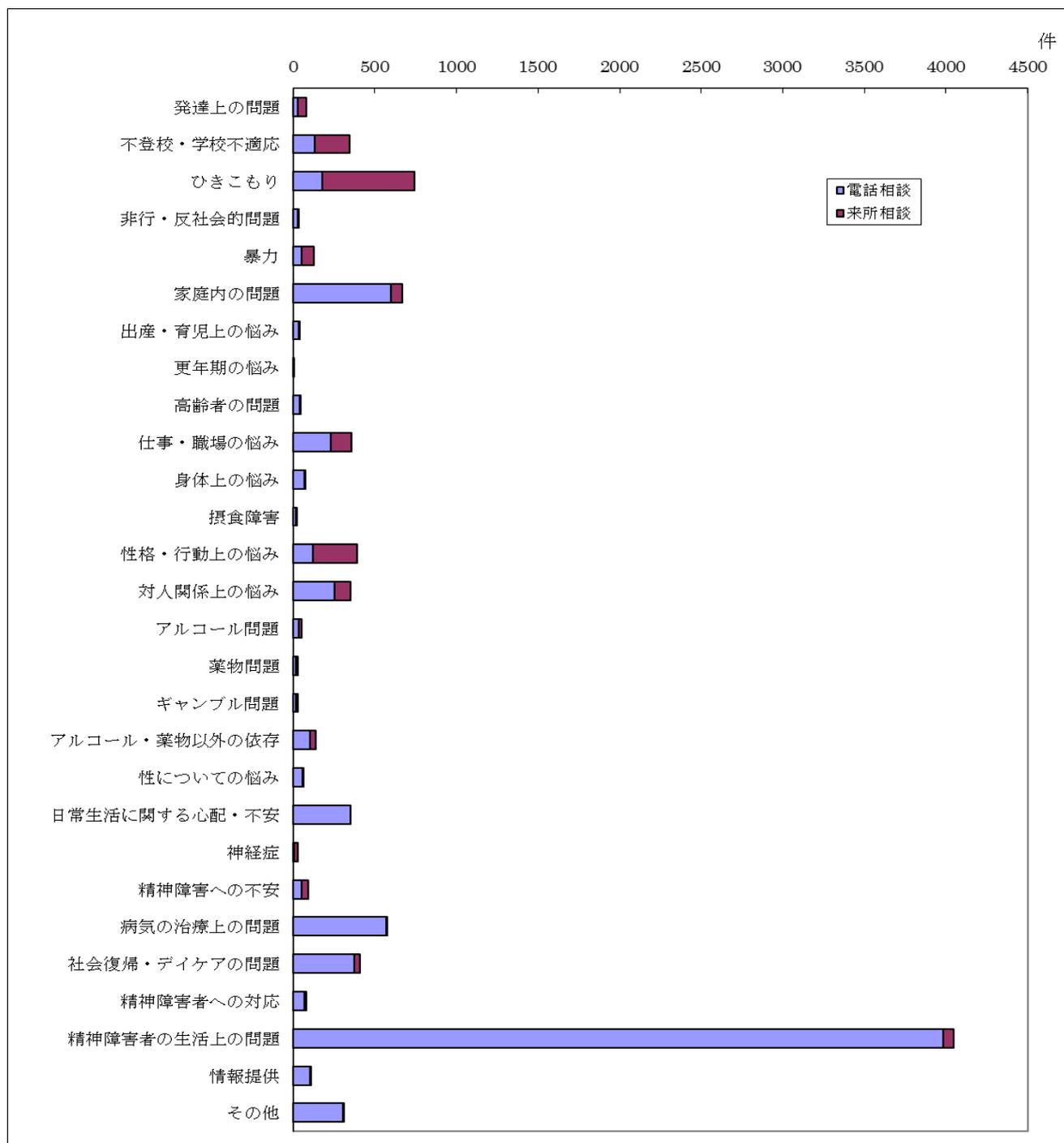


表7 電話相談における対応状況

区分	傾聴・助言	来所相談の勧奨	他機関紹介	その他	再連絡	合計
件数	7,040	201	407	134	28	7,810
%	90.1%	2.6%	5.2%	1.7%	0.4%	100%

件数は延件数

表8 新来相談における来所経路

経路	性別	男	女	合計
直接		64	37	101
医療機関（精神科）		9	6	15
医療機関（一般科）		3	4	7
県保健福祉センター・金沢市福祉健康センター		1	3	4
児童相談所		1	0	1
福祉事務所		0	0	0
児童・民生委員		1	0	1
施設・学校		8	7	15
ハローワーク（職業安定所・ジョブカフェ石川）		8	4	12
警察		1	0	1
県庁・市町役場		1	2	3
その他の相談機関		3	3	6
こころの相談ダイヤル		0	0	0
その他の電話相談		0	2	2
その他		11	5	16
合計		111	73	184

件数は実件数

表9 来所相談における対応状況

対応状況	来所者区分	初回相談		継続相談	合計
		初回	新来		
助言・継続面接		316件	182件	1,307件	1,623件
診察		2	2	48	50
	（内）診断書発行	1	0	11	12
検査等※		1	0	75	76
合計		319	184	1,430	1,749

※ 知能・心理検査、検査結果の説明などを行ったもの

件数は延件数

表 1 0 来所相談・訪問相談における関係機関への紹介先

紹介先	来所者区分		継続相談	合計
	初 回	相 談 新 来		
医 療 機 関	23 件	19 件	52 件	75 件
保 健 所	1	0	1	2
福 祉 機 関	2	1	12	14
教 育 機 関	5	3	2	7
そ の 他	16	13	43	59
合 計	47	36	110	157

表 1 1 来所相談における診断状況

診断名	来所者区分		継続相談	合 計	
	初 回	相 談 新 来		件数	割合
症状性を含む器質性精神障害	0 件	0 件	0 件	0 件	0.0 %
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	5	3	5	10	0.6
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	13	3	91	104	5.9
気 分 (感 情) 障 害	40	25	118	158	9.0
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	19	9	125	144	8.2
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	2	0	2	0.1
成人の人格及び行動の障害	5	2	27	32	1.8
知的障害<精神遅滞>	8	2	62	70	4.0
心理的発達の障害	27	8	178	205	11.7
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	3	2	14	17	1.0
神 経 疾 患 等	0	0	0	0	0.0
て ん か ん	0	0	0	0	0.0
診 断 保 留	133	90	548	681	38.9
不 明	64	38	262	326	18.6
合 計	319	184	1,430	1,749	100.0

件数は延件数

(5) 組織育成

平成 27 年度に、当センターが直接かかわりをもった組織は、依存症自助グループ(A A、断酒会等)、石川県精神障害者家族会連合会、石川県精神障害者支援事業所連絡協議会、石川県精神保健福祉協会、石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会の各団体である。

それぞれに対するかかわりの回数、参加人数は表 1 のとおりである。

表 1 協力組織へのかかわり

対 象	回 数	参加人数
依存症自助グループ	14	264
石川県精神障害者家族会連合会	43	380
石川県精神障害者支援事業所連絡協議会	10	144
石川県精神保健福祉協会	38	1,044
石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会	13	98
合 計	118	1,930

ア 依存症自助グループ

(ア) A A

石川県では昭和 63 年に A A 金沢グループが誕生し、現在は 7 グループが 19 ヶ所で活動している。職員が日頃の情報交換や、オープンスピーカーズミーティング、オープンステップミーティングに参加することで、活動支援を行なっている。

(イ) 断酒会

断酒会は、昭和 44 年に「北陸断酒新生会」が結成され、昭和 56 年から例会の会場を当センターで月 1 回提供し職員が参加していた。昭和 58 年には「石川県断酒新生会」、昭和 63 年には「石川県断酒連合会」と名称が変更され、例会は独自で開催されていたが、平成 23 年度末で「石川県断酒連合会」は解散となった。現在は、3 地区の断酒会が活動を継続しており、当センターとしては日頃の情報交換を通して活動支援を行なっている。

イ 精神障害者家族会

(ア) 石川県精神障害者家族会連合会 (石家連)

精神障害者家族会は昭和 48 年 6 月頃より石川県内の保健所単位に地域家族会として結成され、10 家族会 (会員数約 400 人) をもって昭和 49 年 2 月に連合会として発足した。

その後、地域家族会の統合を経て平成 27 年度現在では 11 地域家族会と 2 病院家族会、1 施設家族会で連合会を組織し、会員は 221 名である。

平成 27 年度は、全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと) からの働きかけを受け、精神障害者の交通運賃割引に向けての署名活動を行った。

表 2 石家連へのかかわり

内 容	回 数	参加人数
総会	1	40
精神障害者家族会と病院長等との懇談会 精神保健福祉協会との共催	1	88
行政との懇談会	1	32
常務理事会、理事会等	16	186

(イ) 地域家族会

地域家族会の育成援助は必要に応じて助言支援を行っている。

ウ 石川県精神障害者支援事業所連絡協議会

平成 5 年度から県内の精神障害者小規模作業所指導員の研修の場として、石家連の中に作業所部会を設けて、作業所運営の検討、アンケート調査の実施、パンフレットの作成等の活動を行ってきた。

平成 7 年度作業所数が大幅に増加し、従事する指導員数も多くなってきたことから、平成 8 年 5 月に県内の小規模作業所で組織する石川県精神障害者支援事業所連絡協議会が発足し、石家連から分離して月 1 回の例会や、役員会、勉強会等の活動を行っている。

平成 27 年度、県内の精神障害者支援事業所 (18 ケ所) が参加している。また、石川県障害者ふれあいフェスティバルでは、各事業所の製品販売を行った。当事者への支援力向上を図るため、研修を行っている。

エ 石川県精神保健福祉協会

昭和 35 年 10 月に石川県精神衛生協会が結成され、平成 3 年 6 月、名称を石川県精神保健協会、平成 10 年 6 月に石川県精神保健福祉協会と改めている。平成 27 年度会員は、個人会員 257 名、団体会員 27 団体、特別会員 12 病院となっている。

表 3 精神保健福祉協会へのかかわり

期 日	内 容	対 象	人 数
27. 5.13	表彰審査委員会	委員等	5 人
27. 4.15 ~ 28. 3.24 まで	こころの健康づくり講師派遣事業	地域、学校、 職域等の団体	13 回 401 人
27. 4. 1 ~ 28. 3.31 まで	” の受付等	”	13 回 13 人
27. 5.23	理 事 会	理事、監事等	9 人
28. 3. 9	”	”	16 人
27. 6.20	総 会	会員、関係者等	45 人
”	精神保健講演会 演題：「子どもの発達支援におけるタブレット PC 及びソフトウェアテクノロジーの可能性」	会員、一般	68 人
27. 6.28	精神保健福祉研修会 演題：「人間はなぜ依存症になるのか～薬物依存の理解と援助～」	関係機関職員、 保健所、一般	100 人
27.11.26	精神障害者家族会と病院長等との懇談会 演題：「家族支援についての具体策」	関係機関職員、一般	89 人
28. 2. 3	産業と精神保健専門員会 演題：「メンタル不調者の復職と雇用の継続」	企業関係者	36 人
28. 2. 7	教育と精神保健専門委員会 演題：「ワーキング メリから見えてくる学習の遅れに関する児童の姿」	会員、一般	48 人
28. 3. 8	会報編集委員会	委員等	6 人
28. 3.13	地域精神保専門委員会講演会 こころの健康づくりシンポジウム テーマ：「こころを結ぶ地域のつながり～すこやかに安心してくらすために～」	関係機関職員、 教育関係者、一般	130 人
28. 3.27	精神保健福祉研究会 演題：「発達障害のある人の就労と自立の準備」	会員、一般	78 人

計 38 回 1,044 人

オ 石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会

昭和 63 年に当センターでメンタルヘルスポランティア講座が開催され、メンタルヘルスに関心がありボランティアを志す人達がグループを作って積極的な活動がなされるようになった。平成 11 年に連絡会が開催され、平成 13 年度に「石川県メンタルヘルスポランティア連絡協議会」が発足。平成 27 年度には県内のグループ数は 8 となっている。

(6) 調査研究等

第43回北陸公衆衛生学会(平成27年11月19日石川県)において報告した。

石川県における自殺防止対策

久保かおり⁽¹⁾, 飯田芳枝⁽¹⁾, 石原雅子⁽²⁾, 茅山加奈江⁽²⁾, 角田雅彦⁽¹⁾

(1)石川県こころの健康センター(2)石川県健康福祉部障害保健福祉課

【はじめに】

石川県における自殺者数は、平成9年までは200人以下で推移していたが、全国同様、平成10年には281人に跳ね上がり、平成15年には300人を超えるなどこれまでにない高い水準で推移してきた。こうした中、健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現に向け、平成18年6月に制定された「自殺対策基本法」に基づき、平成20年3月「石川県自殺対策行動計画」(以下、「行動計画」とする)を策定し10年計画で推進してきたので、その各種施策を紹介し結果を報告する。

【施策】

1 自殺予防に向けた普及啓発の充実

- (1)自殺予防街頭キャンペーン・パネル展示・ラッピングバス広告・啓発資材の作成配布、
- (2)明るい心の健康づくり応援事業、(3)自殺防止対策講演会・シンポジウムの実施

2 自殺予防のための相談・支援の充実

- (1)ハローワークにおける包括相談事業、(2)「こころ・からだ・くらし・悩みごとなんでも相談会」の開催、(3)民間団体との連携会議・自殺対策連絡会議・多職種による事例検討会

3 こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

- (1)うつ、依存症家族教室の開催、(2)ゲートキーパー研修・職場内ゲートキーパー養成事業・ほっとハート店推進事業、(3)若い世代の心の健康づくり事業

4 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

- (1)消防との連携支援事業・アンケート調査、(2)救急医療と精神科医療との連携強化のための研修会

5 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

- (1)心の緊急支援派遣、(2)自死遺族交流会

【結果・考察】

「行動計画」の策定から5年を経て、石川県の人口動態統計における自殺死亡率(人口10万人当たり)は平成25年17.7、平成26年15.7と2年連続して全国で最も低い結果となった。このことの社会的背景としては、北陸新幹線開業等に伴う景気回復と失業率の低下が挙げられるが、「行動計画」の推進による影響も大きいのではないかと考えられる。

【おわりに】

「行動計画」策定以前は、自殺未遂者への対策がほとんど行われてこなかったが、自殺未遂者の数は、自殺者数の10倍以上とも言われており、自殺未遂者の4割以上が過去に自殺未遂の経験を有するとの調査報告もあることから、再発防止のためにも自殺未遂者に対する心のケア体制の整備の重要性は高いと考えられ、平成25,26年度は特に未遂者支援に努めてきた。また自殺対策の「プリベンション(予防)」「インターベンション(介入)」「ポストベンション(事後対応)」の中でも、「ポストベンション」は自殺の連鎖を防ぐために、特に重要とみて支援体制を強化してきた経過がある。今後もケースの個別性を踏まえ、きめ細やかな自殺対策を進めていきたいと考える。

(7) ひきこもり社会参加復帰支援事業

青年期のいじめや家庭内暴力、不登校、ひきこもりなどが社会問題化してきている中で、平成13年4月から、県全体の取り組みとして事業が開始された。

事業は、青年期の問題のうち、主にひきこもりや不登校を対象とし、総合的な対応を行うために、地域の保健所や関係機関と連携を図りながら、相談や家族交流会、ひきこもり当事者グループ活動、必要に応じてアウトリーチ（訪問相談支援）等の活動を行った。

また、平成26年度から「ひきこもりサポーター養成研修」を実施し、今年度は保健所等への派遣を行った。

ア 個別相談

専用の相談窓口、相談日を設けることなく、随時相談に応じている。

表1 ひきこもり相談件数

区 分	延件数
電 話 相 談	231 件
来 所 相 談(うち、アウトリーチ)	850 件 (11 件)
合 計	1,081 件

イ ひきこもり当事者グループ(悠友クラブ)活動

ひきこもっている若者たちが安心して過ごせる「居場所」を確保し、同じ悩みをもつ仲間との交流体験を通して、孤独感の軽減、対人関係の改善や社会性の向上、ひきこもりや社会不適応からの脱却を支援するとともに就労支援等を行った。

日 時：毎週水曜日 13:30～15:30

回 数：年 47 回

内 容：第1週は当センターが行う学習会、その他の週は、スポーツ、しゃべり場、レクリエーション、カラオケなど参加者が話し合いによって決める。

対 象：概ね 18 歳以上のひきこもり状態の方

参加数：実人数 33 人(男性 28 人女性 5 人) 延べ 397 人

定 員：概ね 15 人程度

ウ ひきこもり家族交流会

ひきこもり問題に悩む家族が、その経験や思いを共有することで孤立感を和らげるとともに、それぞれが抱えている問題への対応能力を向上するための家族の交流する場を設け、グループ活動を支援した。

日 時：偶数月第3日曜日 13:30～15:30

回 数：6回

内 容： ミニ講座 ウォーミングアップ（気分調べ） 家族同士の話し合い
（交流会） 気分調べ

対 象：当センターで個別相談を継続している家族、及び「ひきこもり家族教室」と「ひきこもり家族交流会」に参加経験のある家族

表2 家族交流会の開催状況

回数	日 時	ミニ講座	参加家族数
1回	H27.5.24	ご家族に知っておいて欲しいこと	18家族21人
2回	H27.6.21	ポジティブなコミュニケーションでお子さんと話そう	17家族19人
3回	H27.8.16	上手に褒めて望ましい行動を増やす	16家族18人
4回	H27.10.18	当事者の体験談「家族に伝えたいこと～当事者から家族へのメッセージ～」	22家族27人
5回	H27.12.20	当事者の体験談の振り返り	13家族16人
6回	H28.2.21	就労と就学について～社会参加の道筋～	14家族17人

エ ひきこもり対策地域ネットワーク会議（ひきこもり対策保健所等連絡会）

ひきこもり相談支援が各圏域において効果的かつ適切に行われるよう、ひきこもり相談支援の中心的役割を担っている保健所等による連絡会を行った。

日 時：平成27年11月10日（火）9:30～12:00

内 容：ひきこもり相談及び支援の現状と課題について

関係機関との連携会議の開催及び他機関との連携状況と課題について

ひきこもり地域ネットワーク会議について

ひきこもりに関する事例検討会（好事例の報告を含む）

意見交換

対象及び参加数：市町、保健所等職員 14人

オ ひきこもりサポーター養成研修

ひきこもり経験のある当事者や家族が、自らの経験を生かして、ひきこもりに悩む当事者や家族の支援をするための「ひきこもりサポーター」を養成するとともに、研修終了後、行政機関や団体等が行う相談や支援等にひきこもりサポーターとして活動を希望した者を登録した。

日 時：平成 27 年 12 月 6 日（日）13:00～17:00

内 容：講義：「ひきこもりサポーター（当事者・家族）の説明」

講義：「ひきこもりに関する基礎知識」

講義：「コミュニケーションを学ぼう」

講義：「ひきこもりサポーターの登録と活動」

演習：「自分の経験談をまとめよう」

演習：「自分の経験を発表しよう」

修了証書交付、ひきこもりサポーター登録

受講及び登録者：当事者 6 人（うち登録者 3 人）、家族 8 人（うち登録者 5 人）

カ ひきこもりサポーター派遣

保健所等からの依頼により、登録したひきこもりサポーターを派遣し、ひきこもり家族や支援者等にそれぞれの経験を話す取組をした。

表 3 ひきこもりサポーターの派遣状況

派遣先	派遣者	回数	人数
金沢市泉野福祉健康センター	当事者	1回	2人
南加賀保健福祉センター	当事者	1回	3人
石川中央保健福祉センター	当事者	1回	2人
	家族	1回	1人
能登中部保健福祉センター	当事者	1回	2人
能登北部保健福祉センター	当事者	1回	2人
	家族	1回	1人
こころの健康センター	当事者	1回	3人
計	当事者	6回	14人
	家族	2回	2人

キ ひきこもり者と家族の心と体を健康にする食事を考える会

ひきこもり者の生活は昼夜逆転していることが多く、家族との会話や共食が出来にくく、家族はどのように関わればよいか困惑している現状がある。

そこで、食の面からひきこもり支援を実践してきた講師の話聴き、また食卓を豊かにするメニューを共に調理することで、食事を通したひきこもり者の家族のあり方を考える機会とする。

日時：平成 28 年 1 月 22 日（金）10:00～14:00

講師：NPO 法人子どもと生活文化協会、はじめ塾（寄宿生活塾）の料理長

和田 佐和子（神奈川県小田原市在住：穀物菜食を中心とした料理研究家）

内容：（ア）講話

（イ）調理実習

<メニュー>

雑穀入り分づき米のご飯、切り干し大根のハリハリ漬け、穀物ミネストローネ豆腐のフワフワハンバーグ、豆腐マヨネーズ、レンコンサラダ白菜とリンゴの切るだけサラダ、グミ風ゼリー

（ウ）意見交換

参加者：ひきこもりの方がいる家族、不登校児等の家族、ひきこもり支援者等 16 名

(8) 依存症関連問題指導事業

ア 特定相談指導

表1 相談指導状況

区 分	来 所 相 談			電話相談
	計	男	女	計
アルコール問題	13 (6)	12 (5)	1 (1)	27
薬 物 問 題	11 (4)	1 (1)	10 (3)	16
ギャンブル問題	13 (7)	11 (5)	2 (2)	12
アルコール・薬物・ギャンブル以外	38 (5)	1 (1)	37 (4)	99
計	75 (22)	25 (12)	50 (10)	154

件数は延人数（実人数）

イ 薬物関連問題講演会

薬物等依存症に対する理解を深め、対応を学び適切な支援が行えるように一般県民及び専門職を対象に講演会を開催した。

日 時：平成 27 年 6 月 28 日（日）13:30～16:30

内 容：講演「人はなぜ依存症になるのか～薬物依存の理解と援助～」

講 師：国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部長

自殺予防総合対策センター副センター長 松本 俊彦（精神科医）

対象及び参加数：一般県民、当事者、家族、保健・医療・福祉・司法関係従事者 等

100 人

ウ アルコール・薬物、ギャンブル依存症教室

アルコールや薬物、ギャンブル等の依存と自殺には密接な関係があると指摘されており、平成 22 年度から依存症教室を開催している。

依存症に対する理解を深め、適切な対応や支援が行えるように、アルコールや薬物、ギャンブル等の依存症当事者、家族及び支援者等に対し依存症教室と、第 6 回目教室終了後には、支援者を対象とした事例検討会を行った。

(ア) 依存症教室

日 時：奇数月第4火曜日

回 数：6回

内 容：講義（テーマは下記の通り）

参加者のフリートークと講師からの助言

講 師：新阿武山クリニック ソーシャルワーカー 西川 京子（社会福祉士）

（3月1日のみ、こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医））

対 象：アルコール・薬物、ギャンブル等依存症当事者、家族、支援者

表2 依存症教室の開催状況

(人)

開催日	テーマ	ギャンブル 依存症教室 (10:00～12:00)	アルコール・ 薬物依存症教室 (13:00～15:00)	計
5月26日	依存症って何？	27	38	65
7月28日	なぜ、やめられないのか	32	54	86
9月29日	回復のために何ができるのか	22	36	58
11月24日	どうしたらやめられるのか	27	44	71
1月26日	アディクションの問題から周囲が受ける影響	29	34	63
3月1日	依存症に伴う困難	17		17
	計	137()	206()	360

第6回目は都合により、ギャンブル、アルコール・薬物の各教室を合同に開催したため、各教室の合計人数は第1～5回までの数とする。

(イ) 依存症事例検討会

日 時：平成28年3月1日（火）

回 数：1回

助言者：こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

対 象：アルコール・薬物、ギャンブル等依存症関連問題に携わる支援者

エ 依存症家族交流会

依存症からの回復のためには、それを支える家族の支援が重要である。アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症者の家族が、適切な理解と対応を学び、同じ立場で分かち合える場として、家族交流会を開催した。

日 時：概ね偶数月第 4 火曜日

回 数：5 回

内 容：CRAFT（クラフト：コミュニティ強化と家族訓練：Community Reinforcement and Family Training）（テーマは下記の通り）
家族同士の話し合い

対 象：アルコール、薬物、ギャンブル等依存症者の家族

表 3 依存症家族交流会の開催状況

（人）

開催日	テーマ	計
6 月 23 日	薬物・アルコール問題のある家族を治療につなげるために	7
8 月 25 日	問題行動の分析	4
10 月 27 日	コミュニケーションスキルの改善	5
12 月 22 日	望ましい行動を増やし望ましくない行動を減らす方法	2
2 月 16 日	あなた自身の生活を豊かにする	1
合 計		19

オ 依存症再発予防プログラム

依存症当事者が、回復に向けて具体的かつ効果的に取り組んでいけることを目的として、認知行動療法による集団プログラムの開催を計画したが、平成 27 年度は対象者が参集せず、実績なしであった。

日 時：毎月第 1、3 火曜日

内 容：SMARPP（せりがや覚せい剤再乱用防止プログラム：Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program）

対 象：薬物の使用及び、関連する問題について困っている本人

(9) ドメスティック・バイオレンス抑止男性支援事業

平成 13 年 10 月の「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)の施行に先立ち、平成 13 年 4 月から暴力を止めたい男性が相談できる場所として、個別相談窓口を開設している。

表1 DV個別相談件数

区 分		計	面接相談	電話相談
DVに関する相談件数		295件	120件(26)	175件
うちDV抑止に関する相談		236件	105件(19)	131件
相 談 者 内 訳	加 害 男 性	217件	101件(16)	116件
	加 害 女 性	0件	0件	0件
	被 害 女 性	13件	2件(2)	11件
	被 害 男 性	0件	0件	0件
	加害男性の家族等	3件	2件(1)	1件
	被害女性の家族等	3件	0件	3件
	そ の 他	0件	0件	0件

()は実件数

(10) 自殺予防対策推進事業

ア 自殺予防に向けた普及啓発の充実

(ア) 自殺予防街頭キャンペーン等 (詳細は P20 参照)

9月10日から16日までの「自殺予防週間」にちなんで、県庁展望ロビーにおいて、自殺予防及びうつ病に関するパネル展示を行った。

9月10日の世界自殺予防デーには、自殺予防の呼びかけやうつ病等に対する正しい知識や相談窓口等の周知について、街頭キャンペーンを実施した。

(イ) 自殺予防に関する普及啓発資料 (詳細は P20 参照)

啓発媒体として、チラシ、ポスター、パンフレット、冊子を作成し、県民や関係機関へ配布した。

(ウ) 講演会

<1回目>

日時：平成27年11月29日(日)13:00～16:30

場所：石川県立音楽堂 交流ホール

内容：

オープニングアクト アカペラ

第一部 講演 「人間になれない子どもたち～スマホ社会の落とし穴～」

講師 NPO 法人子どもとメディア 代表理事 清川 輝基

第二部 フロアディスカッション

助言者 NPO 法人子どもとメディア 代表理事 清川 輝基

コーディネーター こころの健康センター 所長 角田 雅彦(精神科医)

参加数：100人

< 2 回目 >

日時：平成 28 年 3 月 13 日（日）13:00～15:30

場所：珠洲商工会議所 大ホール

内容：

第一部 講演「高齢者のこころの理解とケア」

講師 （一社）認知行動療法研修開発センター

ストレスマネジメントワーク 理事長 大野 裕（精神科医）

第二部 パネルディスカッション テーマ「一人ひとりにできること」

コーディネーター こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

助言者 （一社）認知行動療法研修開発センター

ストレスマネジメントワーク 理事長 大野 裕（精神科医）

パネリスト

珠洲市大谷地区社会福祉協議会

珠洲市若山長寿会

^{そら}宙メンタルクリニック（珠洲市総合病院精神科嘱託医）

珠洲市福祉課

参加数：130 人

イ 自殺予防のための相談・支援の充実

（ア）ハローワークにおける包括相談事業

自殺予防週間（9月10日～9月16日）及び自殺対策強化月間（3月）にちなみハローワークと協力し、こころの相談や多重債務の相談など多職種に相談できる包括相談会を開催した。

開催日	会 場	出務者（職種）	相談 件数
H27.9.7	ハローワーク金沢	精神科医、司法書士、保健師、心理職	3
H28.3.14	ハローワーク金沢	精神科医、弁護士、司法書士、保健師、 心理職	1

(イ)「こころ・からだ・くらし・悩みごとなんでも相談会」の開催

講演会の会場において、多職種による相談会を開催した。

開催日	会場	出務者（職種）	相談件数
H27.11.29	石川県立音楽堂	弁護士、司法書士、社会保険労務士、 精神保健福祉士、保健師、心理職、 精神対話士	-

(ウ) 民間団体との連携会議

自殺予防週間や月間事業の一環として、かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ（以下の民間団体：石川県宗教連盟、NPO ささえる絆ネットワーク北陸、NPO しあわせの輪グループ、NPO 法人金沢あすなる会、NPO 法人子どもの虐待防止ネットワーク石川、公益社団法人金沢こころの電話、子ども夢フォーラム、一般財団法人メンタルケア協会北陸事務所、ひまわりの会、ほっとの会）と県が連携し、自殺対策に向けて事業の計画検討や情報交換を行った。

回数	日時	内容	団体数及び参加数
1回	H27.5.15	自殺予防週間関連講演会の事業計画 検討	9団体 13人
2回	H27.6.19		8団体 13人
3回	H27.7.2		7団体 12人
4回	H27.8.7		7団体 12人
5回	H27.9.10		7団体 12人
6回	H27.10.23		7団体 11人
7回	H27.11.25		8団体 13人
8回	H27.12.16	自殺対策強化月間関連講演会の事業 計画検討	6団体 9人
9回	H28.1.20	情報交換及び学習会 講師 宙メンタルクリニック 院長 西村 正史（精神科医） 演題「珠洲からの報告」	7団体 11人
10回	H28.2.9	自殺対策強化月間関連講演会の事業 計画検討	7団体 11人

(エ) 自殺対策地域連絡会議への支援

技術支援先	内 容
南加賀保健福祉センター	日時：平成 27 年 10 月 6 日 13:30～16:30 参集者：行政・医療機関・警察・消防・各種団体等
	日時：平成 27 年 12 月 4 日 13:30～16:30 参集者：行政・医療機関・警察・消防・各種団体等
能登中部保健福祉センター	日時：平成 28 年 2 月 8 日 13:30～15:30 対象者：羽咋郡市消防・警察・救急告示医療機関・精神科医療機関・行政等

(オ) 多職種による事例検討会

平成 26 年度から自殺のさまざまな要因に関連が深い分野の専門家や支援者等多くの職種が、事例を通して支援のあり方を共有し連携して支援する仕組みを検討した。

参集者：弁護士、司法書士、医療機関職員、行政機関（警察・消防・市町）等

実施日	内 容	人数
H27.6.18	事例検討「高齢者で自殺リスクの高いケース」	18 人
H27.8.27	報告「自殺未遂をした方への組織での取組み」	16 人
H27.10.22	報告及び事例検討「自殺の状況と対応した事例について」	20 人
H27.12.17	報告「精神科診療所における自殺予防のかかわり」	20 人
H28.2.25	事例検討「死にたいと訴える親子への支援」	11 人

ウ こころの健康づくりと早期発見・治療の促進

(ア) ゲートキーパー養成等事業

地域の中で悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげるゲートキーパーの役割を担う人を育成し、自殺予防につなげることを目的とする。

a ゲートキーパーリーダー養成研修会

地域において、自殺防止対策のリーダーとして活動できる人材を養成するとともに、これまで養成したゲートキーパーリーダーの更なる資質の向上のため研修会を開催した。

日 時：平成 27 年 8 月 21 日（金）13:30～16:30

講 師：こころの健康センター 所長 角田 雅彦（精神科医）

対象及び参加数：県及び市町自殺対策担当者、医療従事者等 20 人

b ゲートキーパー出前講座（ ）

講師：こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）

	実施機関	対 象	参加数
県	石川県労働委員会	委員、事務局職員	21 人
市町	小松市健康推進課	御幸中学校中学 2 年生	79 人
		芦城中学校中学 2 年生	169 人
		南部中学校中学 2 年生	201 人
		安宅中学校中学 2 年生	72 人
		板津中学校中学 2 年生	102 人
	能美市健康福祉課	能美市婦人団体協議会	100 人
	川北町教育委員会	小中学校教職員	60 人
その他	加賀市学校教育会養護部中学校部会	中学校養護教員	5 人
	いしかわ長寿大学校	受講生	60 人

「(3) 普及啓発 イ 講師を派遣した講演会」よりゲートキーパー養成関連を再掲

(イ) 若い世代のこころの健康づくり事業

高校生や専門学校生等を対象にした自殺予防のためのこころの健康教育、ゲートキーパー研修等を実施した。

実施日	対象	参加数
H27.4.17	金沢看護専門学校	100人
H27.4.19	北信越柔道整復師専門学校	100人
H27.4.20	石川県理容美容専門学校	100人
H27.5.7	金沢大学医学部	100人
H27.6.1	石川県総合看護専門学校	50人

(ウ) うつ病家族教室

うつ病の家族が、患者へのよりよい対応ができるように、病気についての知識・理解を深めることを目的とし、平成24年度からうつ病家族教室を開催している。

日 時：平成27年9月18日(金) 13:30～15:00

内 容：講演「うつ病の理解と対応」

講 師：こころの健康センター所長 角田雅彦(精神科医)

対象及び参加数：うつ病患者の家族及び支援者 7人

個別相談：2人

エ 自殺未遂者へのケアと再発防止対策の構築

自殺未遂者の再企図を防止するために、自殺未遂者の心理面に配慮した対応の理解と普及を図るとともに、必要に応じて精神科医療や地域の支援につなぐための連携や体制の構築に向けて、研修会や事例検討会等を実施した。

(ア) 救急告示医療機関職員等に対する研修会

日 時：平成27年10月1日(木) 13:30～15:30

講 演：「救急センターを出発点とした自殺未遂者ケア」

講 師：国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所精神薬理研究部 部長 山田 光彦(精神科医)

対象及び参加数：県内救急告示医療機関、消防署、行政機関職員等 55人

(イ) 自殺未遂者支援における地域支援(技術支援)

講師：こころの健康センター 所長 角田 雅彦(精神科医)

実施機関	内 容	人数
能美市立病院	講 演：「こころの健康・医療者としてのかかわりについて」 対象者：医師、看護師等	55 人
能登中部保健福祉センター	講 演：「地域における自殺未遂者支援の連携について」 対象者：消防、警察、精神科病院、救急告示医療機関、行政職員	50 人

(ウ) 救急隊員に対する研修(技術支援)

講師：こころの健康センター 所長 角田 雅彦(精神科医)

実施機関	内 容	人数
消防学校	講 演：「メンタルヘルス(サービスと勤務)」 対象者：消防新任職員	<1回目> 58人 <2回目> 10人
金沢市消防局	講 演：「消防職員の心のケア」 対象者：金沢市消防職員	<1回目> 100人 <2回目> 100人
金沢市消防局	講 演：「メンタルヘルスと惨事ストレス」 対象者：金沢市消防初級幹部職員	25人

オ 遺族等へのケアと支援施策の充実強化

(ア) 自死遺族交流会

家族を自死(自殺)で亡くした方達が、苦しい気持ちの語り合いや傾聴、互いを支え合う場として、平成18年11月より「自死遺族交流会」を開催している。

日 時：奇数月第1土曜日 14:00～16:00

場 所：金沢市内

回 数：6回

参加数：実7人 延べ16人

(11) 子どもの心のケア推進事業

近年、ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害など様々な子どもの心の問題が社会的課題となっているが、子どもの心の問題の診療を担う医師が少なく、保護者はもとより保育所や学校等においてもその対応に苦慮している現状がある。

そこで、子どもの心の問題に対し、医療・教育・保健・福祉の各分野が同じ認識のもとで連携し、子どもの健全な発達への支援と、地域で安心して継続的な相談ができる体制の構築を目的として、いしかわ子どもの心のケアネットワーク事業（H24年度から、「子どもの心のケア推進事業」となる）を平成20年度から行っている。

ア 子ども心のケア・相談事業

電話や来所面接による個別相談を通じ、子どもの心の問題で悩む家族や関係者が安心して相談でき、的確な支援を受けられる機関を紹介するなどコーディネート機能を実施した。

(ア) 電話相談実績

表1 電話相談件数と相談者の内訳 (人)

年代	件数(延)	相談者内訳		
		父	母	その他(**)
幼児	7		7	
小学生	30	1	21	8
中学生	52	2	40	10
高校生	146	11	106	29
その他(*)	13	2	6	5
総計	248	16	180	52

その他(*)：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他(**)：本人、祖父母、学校等

表2 電話相談の内容(延)

	発達上の問題	不登校	ひきこもり	性格・行動・暴力	家庭内の問題	出産・育児	身体上の悩み	摂食・性格・行動・対人関係	依存関係	性・日常生活等不安	病気の不安等	精神障害者への対応	情報提供・その他	計
幼児	1				1	5								7
小学生	11	10			5	1		2					1	30
中学生	2	29		3	4			2		6	1	5		52
高校生	3	72	1	2	26	1		15	1	14	1	1	10	146
その他	1	2	2		1	1		1		1	1		2	13
計	18	113	3	5	37	8	0	20	1	21	3	6	13	248

(イ) 来所相談

表3 来所相談件数と相談者内訳

(人)

年代	件数(実)	件数(延)	相談者内訳(重複あり)			
			父	母	本人	その他(**)
幼児	1	14	7	14		
小学生	5	11	2	6	4	4
中学生	10	40	0	33	27	1
高校生	29	149	16	93	71	4
その他(*)	8	88	2	73	22	11
総計	53	302	27	219	124	20

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

その他(**) : 祖父母、学校等

表4 来所相談内容(実件数内訳)

	発達上の問題	不登校	ひきこもり	性格・行動・暴力	家庭内の問題	出産・育児	身体上の悩み	摂食・性格・行動・対人関係	依存関係	性・日常生活等不安	病気の不安等	精神障害者への対応	情報提供・その他	計
幼児	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
小学生	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5
中学生	0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	10
高校生	2	17	0	0	4	0	0	5	0	0	0	1	0	29
その他	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
計	5	30	3	1	4	1	1	5	0	0	0	2	1	53

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表5 来所相談の経路(実件数内訳)

	直接	医療機関からの紹介	学校からの紹介	その他	総計
幼児	1				1
小学生	4		1		5
中学生	5	1	1	3	10
高校生	12	4	8	5	29
その他(*)	6	1		1	8
計	28	6	10	9	53

その他(*) : 義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

表6 来所相談の処遇状況及び他機関との連携状況（実件数内訳）

	対応について助言	継続面接	他機関へ紹介 （病院等）	総計	他機関と連携 （再掲）
幼 児	1			1	
小学生	1	2	2	5	5
中学生	2	6	2	10	2
高校生	16	11	2	29	7
その他(*)		7	1	8	
計	20	26	7	53	14

その他（*）：義務教育後、高等学校に在籍していない18歳以下の者

再掲：医療機関・保健福祉センター・市町・学校・その他機関

イ 子どもの心の支援事例検討会

目 的：支援内容の検討及び情報共有により、子どもへの総合的な支援を実施し、
子どもの心を診る専門医、専門家及び関係者の育成強化を図る。

参集者：子どもの心の問題に携わる医療・教育・保健・福祉関係者

（ア）未就学児・学童期事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・対象及び参加数：保健・教育・保育関係者 62人
- ・助言者：医王病院 大野 一郎（小児科医）
まるおかクリニック 丸岡 達也（小児科医：1・3回）
穴水こころのクリニック 林 正男（精神科医：1・3回）
日野 和美（元保育士）
こころの健康センター所長 角田 雅彦（精神科医）
" 前支援課長 北川 ゆみ子

（イ）児童・青年期事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・対象及び参加数：医療・保健・教育・保育関係者 84人
- ・助言者：第2・4回 ほんだクリニック院長 本田 徹（精神科医）
第1・3回 谷野呉山病院副院長 榎戸 芙佐子（精神科医）

(ウ) 精神科・小児科医師等事例検討会

- ・開催回数：4回
- ・対象及び参加数：精神科・小児科等医師 36人
- ・助言者：第2・4回 ほんだクリニック院長 本田 徹（精神科医）
第1・3回 谷野呉山病院副院長 榎戸 芙佐子（精神科医）

(エ) 子どもの心の支援者事例検討会

<1回目>

日時：平成27年8月4日（火）11:00～12:00

場所：石川県地場産業振興センター本館第3研修室

事例検討会テーマ

「子どものうつとその対応～家族や教員の関わり方を中心に～」

講師：北海道大学大学院保健科学研究院

生活機能学分野教授 傳田 健二（精神科医）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者 30人

<2回目>

日時：平成27年11月7日（土）10:30～12:00

場所：石川県こころの健康センター研修室

事例検討会テーマ

「不登校の子どもたちへの対応とその予後～教育・家族の対応を中心に」

講師：社会福祉法人恩師財団母子愛育会愛育研究所

児童福祉研究部長・愛育相談所長 齋藤 万比古（児童精神科医）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者 49人

ウ 子ども心の支援者研修会

医療、教育、保健、福祉等、子どもの心の問題に関する治療及び支援に携わる各分野の関係者が一堂に会し、相談対応技術のスキルアップ及び連携の強化を図る。

(ア) 子ども心の問題に携わる関係者育成セミナー

<1回目>

日時：平成27年8月4日（火）13:00～15:30

場所：石川県地場産業振興センター本館第3研修室

講演「子どものうつとその対応～家族や教員の関わり方を中心に～」

講師：北海道大学大学院保健科学研究院

生活機能学分野教授 傳田 健二（精神科医）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者 64人

< 2 回目 >

日時：平成 27 年 10 月 5 日（月）10:00～15:30

場所：石川県庁会議室

内容：報告「県内の乳幼児健康診査の実態について」

少子化対策監室母子・食育グループ担当

実践報告「内灘町の幼児健康診査の取り組み

～早期療育を目指した幼児健診を考える～」

内灘町保健年金課 中井七美子・蔵谷梨絵（保健師）

講演「幼児健診における発達障害の早期発見と支援について

～乳幼児健診の役割～」

講師 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

児童・思春期精神保健研究部部長 神尾 陽子（児童精神科医）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者 59 人

< 3 回目 >

日時：平成 27 年 11 月 7 日（土）13:30～15:30

場所：石川県こころの健康センター研修室

講演「不登校の子どもたちへの対応とその予後～教育・家族の対応を中心に」

講師：社会福祉法人恩師財団母子愛育会愛育研究所

児童福祉研究部長・愛育相談所長 齋藤 万比古（児童精神科医）

対象及び参加数：医療・保健・教育・福祉等関係者 87 人

（イ）中央で開催された高度な研修・会議への参加及び派遣

a 第 9 回子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議

日時：平成 27 年 7 月 16 日（木）

会場：東京都

b 第 10 回子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議

日時：平成 28 年 1 月 29 日（金）

会場：東京都

c 平成 27 年度こころの健康づくり対策事業思春期精神保健対策
医療従事者専門研修

日時：平成 28 年 2 月 13 日（土）～2 月 15 日（月）

会場：東京都

エ 出前相談（保育所等における気になる子どもへの早期介入検討会）

目 的：保育に携わる関係者が、子どもの問題行動、情緒的問題など気になる子どもたちへの早期介入を図ることにより、心身ともに幸福で健全な成長と発達を見守り続けることができる体制を構築する。

方 法：気になる子どもへの保育について、発達障害等の支援を実践していた専門家が保育所へ出向き、保育の現場で保育支援検討会を開催する。

対象地区：輪島市保育所（9ヶ所）

担当者：発達障害者支援センター前支援課長 北川ゆみ子他、相談課担当者

検討事例数：56人

参加数：58人（保育士 41人、保健師 8人、社会福祉士 9人）

オ 普及啓発

小冊子「子どもの心の診療・相談機関情報ガイド（平成25年度改訂）」を活用し、子どもの心の問題に関する診療及び相談機関について周知を図っている。

(12) 精神障害者地域生活支援事業

精神科病院に長期にわたり入院している精神障害者のうち、受け入れ条件が整えば在宅生活が可能と見込まれる人、及び入院期間が1年未満の人であっても地域生活への支援を行わなければ社会的な入院の長期化が見込まれる人への退院促進を図る。

ア ピアサポーターの養成研修会

長期入院患者等に対し、退院を促進し、地域での在宅生活に向けて仲間をサポートできるピアサポーターを養成するとともに、これまで養成したピアサポーターのフォローアップとして研修会を開催した。

日 時：平成 27 年 11 月 10 日（火）13:30～16:30

場 所：石川県こころの健康センター研修室

参加者：ピアサポーターの活動を希望する精神障害者、ピアサポーター、精神科病院・クリニックが運営する相談支援事業所職員、精神科病院職員（退院後生活環境相談員、精神保健福祉士等）、地域体制整備コーディネーター、保健所職員等 45 人

内 容：講義 1 「ピアサポーターの目的と活用について」
講義 2 「ピアサポーターの基礎知識」
講義 3 「ピアサポーターの活用報告」
意見交換（グループワーク）

イ ピアサポーターの派遣

精神科病院、相談支援事業所と連携して、登録しているピアサポーターを派遣し、入院患者の地域生活への動機付けのための病院訪問や外出時の同行支援等を通じて退院促進を図った。

(ア) ピアサポーターの登録人数：5 人

(イ) ピアサポーターの派遣回数及び人数

派遣内容等	回 数	人 数
医療機関への派遣	3 回	8 人
ピアサポーターフォローアップ研修	1 回	1 人

3 支援課（発達障害支援センター）業務

(1) 発達障害児(者)及び家族等に対する相談支援・発達支援・就労支援

発達障害児(者)に関する相談全般で1～数回の相談で終了する「相談支援」、心理機能の適正な発達を支援し、円滑な社会生活を促進するために発達障害の特性に対応して支援する「発達支援」、就労に関して支援する「就労支援」を行っている。

支援は「相談支援」から始まり、支援計画を立てて、継続的支援である「発達支援」「就労支援」に切り替える。

表1 年齢別

年齢区分(歳)		0～3	4～6	7～12	13～15	16～18	19～	不明	合計
相談支援	実人員	34	26	85	41	46	260	70	562(118)人
	延件数	59	37	307	149	121	995	77	1,745(127)件
発達支援	実人員	106	117	47	16	11	31	0	328人
	延件数	1,572	1,695	536	190	86	344	0	4,423件

()は内数で県外居住者及び
居住先不明者の合計

年齢区分(歳)		18歳未満	18歳以上	合計
就労支援	実人員	0	99	99人
	延件数	0	1,365	1,365件

表2 相談支援の主な相談内容

相談の対象となっている児(者)が発達障害かどうか知りたい	363
現在の生活に関することや家庭で家族ができることを知りたい	692
利用できる制度について知りたい	103
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	214
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	174
進路や将来の生活に関する相談をしたい	140
対応困難な状況の改善について相談したい	25
今後の就労について相談したい	155
現在勤めている職場に関する相談をしたい	61
その他	559
合 計	2,486件

相談時毎の相談内容を計上。複数チェックあり

表3 相談方法

区 分	来所	訪問	電話	その他	合計
相談支援	936	13	686	110	1,745 件
発達支援	728	3,560	118	17	4,423 件
就労支援	1,042	28	266	29	1,365 件
合 計	2,706	3,601	1,070	156	7,533 件

その他：メール、FAX、文書等を含む

表4 障害種別

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
自 閉 症	9	14	3	26
アスペルガー症候群	29	7	11	47
広汎性発達障害	117	79	75	271
A D / H D	20	6	4	30
L D	3	0	0	3
そ の 他	41	28	2	71
不明（未診断含む）	343	194	4	541
合 計	562 人	328 人	99 人	989 人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症[※]、外[※]障害含む

表5 相談者

区 分	相談支援	発達支援	就労支援	合計
本 人	741	2,261	1,084	4,086
保 護 者 ・ 親 族	726	2,077	133	2,936
保 育 所 ・ 幼 稚 園	2	21	0	23
小 学 校	7	10	0	17
中 学 校	5	3	0	8
高 等 学 校	1	0	0	1
特 別 支 援 学 校	0	1	0	1
専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	12	1	2	15
市 町 教 育 委 員 会	0	10	0	10
市 町 保 健 セ ン タ ー	3	2	0	5
保 健 所	3	1	0	4
児 童 相 談 所	12	2	0	14
行 政	18	5	7	30
医 療 機 関	115	21	17	153
企 業	20	0	2	22
公 共 職 業 安 定 所	5	0	5	10
障 害 者 職 業 セ ン タ ー	19	1	25	45
地 域 若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	0	0	0	0
障 害 者 就 業 ・ 生 活 支 援 セ ン タ ー	8	0	8	16
相 談 支 援 事 業 所	4	2	18	24
就 労 移 行 支 援 事 業 所	0	0	17	17
就 労 継 続 支 援 事 業 所	1	2	11	14
そ の 他	43	3	36	82
合 計	1,745 件	4,423 件	1,365 件	7,533 件

行政：保健所、市町保健センターを除く

表6 支援回数別実人員

区 分	1～10回	11回以上	合計
発達支援（実人員）	251	77	328人
就労支援（実人員）	64	35	99人

表7 支援期間別実人員

区 分	3ヶ月未満	3ヶ月～ 6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上	合計
発達支援（実人員）	44	28	92	164	328人
就労支援（実人員）	2	3	6	88	99人

(2) 精神科医による相談事業

囑託の精神科医による相談を月1回実施している。相談後の支援としては、センターによる継続支援や、必要に応じて医療機関等への紹介を実施している。

相談事業結果

実施回数		12回
来所実人員		13人
来所延人員		13人
年齢別	0 ~ 3 歳	0
	4 ~ 6 歳	0
	小学生	1
	中学生	1
	16 ~ 18 歳	0
	19 歳 ~	11
	合計	13
診察結果	障害なし	0
	経過観察(判定保留)	0
	自閉症	0
	アスペルガー症候群	0
	広汎性発達障害	11
	A D / H D	1
	知的障害	1
	その他	0
合計	13	
支援内容	センターで継続支援	13
	医療機関紹介	0
	療育施設紹介	0
	その他の機関紹介	0
	他機関で管理中	0

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症[※]、外[※]障[※]害含む

(参考)

年度別各支援件数の推移

年度	相談支援	発達支援	就労支援	計
H23	1,477 (357)	5,135 (329)	378 (26)	6,990 (712)
H24	1,558 (397)	4,957 (334)	477 (39)	6,992 (770)
H25	1,300 (395)	4,531 (298)	644 (52)	6,475 (745)
H26	2,275 (472)	4,104 (304)	1,261 (76)	7,640 (852)
H27	1,745 (562)	4,423 (328)	1,365 (99)	7,533 (989)

注：() は内数で実人員

(3) 青年期グループ活動

平成 17 年 10 月より、週 1 回午前 10 時から午後 3 時まで、青年期の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
47 回	26 人	586 人	対人マナー、社会見学、ストレス解消法、調理実習等

(4) 就労者グループ活動

平成 22 年 7 月より、月 1 回午後 7 時から 8 時半まで、就労者の当事者を対象としたグループ活動を実施している。

表 1 活動状況

実施回数	実人員	延人員	内 容
12 回	17 人	88 人	談話会等

(5) 親のつどい

平成 19 年 10 月より、月 1 回午後 1 時半から 3 時半まで、青年期にある当事者の保護者を対象として実施している。

平成 21 年 12 月より、月 1 回午前 10 時から 12 時まで、学齢期にある当事者の保護者を対象として実施している。

表 1 実施状況

区 分	実施回数	実人員 (家族)	延人員	内 容
青年期	15 回	13 組	40 人	ピアカウンセリング、話し合い等
学齢期	2 回	8 組	11 人	ピアカウンセリング、話し合い等

(6) 関係機関等との調整会議

表 1 開催状況

内容	発達障害全般	療育	医療	教育	保健
回数	3	8	0	2	1

内容	福祉	就労	自立支援	その他	合計
回数	0	3	16	2	35 回

(7) 機関コンサルテーション

関係機関に対する障害児(者)への関わり方等についての助言を実施している。

表1 対象機関及び支援内容

区 分		実支援施設数	延支援件数
対象機関	小 学 校	1	1
	中 学 校	0	0
	高 等 学 校	0	0
	特 別 支 援 学 校	0	0
	専 門 学 校 ・ 大 学	0	0
	市 町 教 育 委 員 会	1	14
	市 教 育 研 究 所	1	19
	障 害 者 職 業 セ ン タ ー	0	0
	相 談 支 援 事 業 所	1	1
	就 労 移 行 支 援 事 業 所	0	0
	若 者 サ ポ ー ト セ ン タ ー	0	0
	市 町	1	9
	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	0	0
	医 療 機 関	0	0
	保 健 福 祉 セ ン タ ー	0	0
	合 計	5 カ所	44 件
支援内容	障 害 特 性 の 理 解		0
	指 導 ・ 対 応 方 法 の 助 言		34
	心 理 査 定		0
	事 例 検 討		9
	研 修 会		0
	そ の 他		1
	合 計		44 件

(8) 個別支援のための調整会議

関係機関による会議を開催し、障害児(者)に関して、共通認識を図り、よりよい支援を検討している。

表1 年齢別

区分	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	合計
実人員	1	11	4	0	38	54人
延件数	1	15	4	0	58	78件

表2 障害種別

区分	実支援人員
自閉症	3
アスペルガー症候群	8
広汎性発達障害	25
A D / H D	6
L D	0
その他	2
不明(未診断含む)	10
合計	54人

広汎性発達障害：高機能自閉症、自閉症[※]、外[△]障害含む

表3 会議テーマ

内容	開催回数
家庭生活	2
健康・医療	0
教育	20
保育	0
療育支援	0
進路相談	1
自立支援	13
就労支援	41
その他	1
合計	78回

(9) 普及啓発及び研修

発達障害児（者）の理解及び支援を積極的に進めるため、一般を対象とした普及啓発及び関係機関の職員を対象とした研修会を実施している。

また、関係機関からの講演依頼について、講師を派遣している。

表1 研修会及び公開講演会の開催状況

研修名	平成27年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（中級研修）		
月日 場所	平成27年8月13日 こころの健康センター	平成27年8月17日 石川県航空プラザ	平成26年8月24日 生涯学習センター能登分室
内容	研修 講演「それぞれのライフステージでの発達障害受容～本人と家族を支える～」		
講師	日本ポーター協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏		
参加者	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 38人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 23人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 30人
月日 場所	平成27年9月30日 こころの健康センター	平成27年10月5日 生涯学習センター能登分室	平成27年10月9日 石川ハイテク交流センター
内容	研修 講演「それぞれのライフステージにおける発達障害支援～支援方法について学ぶ～」 演習（グループワーク）		
講師	障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」支援職員、相談支援事業所「きずな」 相談支援専門員 主任 笠合 竜明 氏		
参加者	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 29人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 20人	保健、福祉、相談機関等の 相談支援従事者 24人
月日 場所	平成27年11月20日 石川県地場産業振興センター 本館 2階 第1研修室		
内容	研修 講演「就労支援機関での取り組み」 講演「発達障害者のもつ人の就労と就労支援について」		
講師	就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 事業企画局研究部長 志賀 利一 氏		
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 83人		

研修名	平成27年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）
月日 場所	平成27年6月25日 石川県庁行政庁舎801会議室

内 容	講義「発達障害者支援法について」 講義「相談を受けるとは？」 講義「発達障害とは」
講 師	石川県障害保健福祉課 主任主事 田中 紀子 氏 発達障害者支援センターパース 統括課長 川畑 治代 氏 やすもと医院 精神科医 安本 真由美 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 18人
月 日 場 所	平成27年7月27日 こころの健康センター 研修室
内 容	講義「アセスメントツール研修（概論）」
講 師	金沢大学附属病院 神経科精神科 心理士 芦村 和美 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 16人
月 日 場 所	平成27年9月14日 こころの健康センター 研修室
内 容	講義 「ライフステージ別の現状～幼児・学齢期～」 講義 「ライフステージ別の現状～思春期・青年期～」
講 師	日本ポータージ協会石川湖南支部 小坂 正栄 氏
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 15人
月 日 場 所	平成27年10月5日 こころの健康センター 研修室
内 容	講義「就労関係支援機関の紹介および当事者の体験発表」
講 師	就労移行支援事業所リエゾン 所長 中山 肇 氏 石川障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 大平 将仁 氏、当事者1名
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 19人
月 日 場 所	平成27年7月～平成27年9月 計6回 石川県発達障害支援センター
内 容	実習 当センターが実施している当事者グループ活動への参加
講 師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計17人
月 日 場 所	平成27年9月～平成28年1月 計4回 石川県発達障害支援センター

内 容	実習 石川県発達障害支援センターの機能（個別相談）について ・個別相談の流れについて説明 ・ケースカンファレンスに参加、質疑や意見交換
講 師	石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計15人
月 日 場 所	平成27年11月12日 こころの健康センター 研修室
内 容	実習 保護者の声を聞く ・講演
講 師	当センターが開催している親の集いに参加している保護者3名
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 13人
月 日 場 所	平成27年12月～平成28年1月 計4回 石川県発達障害支援センター
内 容	実習 ロールプレイ ・インテーク場面を想定し、実際の相談場面を疑似体験する
講 師	発達障害者支援センターパース 所長 瀬戸 美津子 氏、統括課長 川畑 治代 氏 石川県発達障害支援センター職員
参加者	保健、福祉、相談機関等の相談支援従事者 計15人

研修名	平成27年度発達障害者等相談支援従事者育成研修（フォローアップ研修）
月 日 場 所	平成27年10月26日 こころの研修センター 研修室
内 容	講義「幼児期から学齢期、学齢期から就労へのつなぎ・連携・課題等について」 意見交換会
講 師	加賀市こども育成相談センター 専門指導員 都治 佳代子 氏 ハローワーク金沢 精神障害者雇用トータルサポーター 八尾 章子 氏
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 15人
月 日 場 所	平成27年11月～12月 計3回 石川療育センター、金沢産業技術専門校ワークサポート科、石川障害者職業センター 就労移行支援事業所リエゾン、金沢こども医療福祉センター、金沢障害者就業・生活 支援センター
内 容	発達障害児者が利用できる社会資源施設の見学
講 師	各施設職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計15人

月日 場所	平成28年1月～平成28年2月 計4回 石川県発達障害支援センター
内容	事例検討会
講師	発達障害者支援センターパス 所長 瀬戸 美津子 氏、統括課長 川畑 治代 氏 石川県発達障害支援センター職員
参加者	発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修）修了者 計13人

研修名	平成27年度アセスメントツール研修
月日 場所	平成27年8月11日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「WISC - について」
講師	筑波大学人間系教授 心理学博士 大六 一志 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（197人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修12名） 受講者計 209人

研修名	平成27年度石川県発達障害支援センター関係機関研修会
月日 場所	平成27年10月30日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害と二次障害」
講師	信州大学医学部附属病院子どものこころの診療部 診療部長 精神科医 本田 秀夫 氏
参加者	保健、福祉、医療、教育、相談機関等の発達障害児者支援に携わる職員（191人） 発達障害者等相談支援従事者育成研修（上級研修15人） 受講者計 206人

研修名	平成27年度石川県発達障害者支援センター公開講演会
月日 場所	平成27年3月6日 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール
内容	講演「発達障害のある人へのコミュニケーション支援を考える」
講師	香川大学教育学部特別支援教育 教授 坂井聡 氏
参加者	医療、保健、福祉、教育、相談機関等の職員、保護者、一般 209人

表2 講師を派遣した講演会及び研修会開催状況

日 時	会 場	内 容	対象及び人数
平成27年4月21日	金沢産業 技術専門学校	ワークサポート科講義	学生・教員 8人
平成27年5月25日	こころの 健康センター	精神保健福祉担当者初任者研修会	市町、保健福祉センター 職員等 54人
平成27年6月8日	こころの 健康センター	金沢工業大学大学院生講義	大学院生 3人
平成27年7月5日	石川県女性セ ンター	金沢引きこもりKHJ親の会 親の講座	親の会員 25人
平成27年7月25日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 8人
平成27年7月30日	こころの 健康センター	養護教員健康相談事例研究会	養護教諭 19人
平成27年7月31日	石川県庁	中部ブロック精神保健福祉センター 長会及び連絡協議会	中部精神保健福祉セ ンター長 14人
平成27年10月14日	金沢学院 東高校	金沢学院東高校教職員研修会	教職員 64人
平成27年11月21日	こころの 健康センター	いしかわ子どもの心のケア推進事業 事例検討会	医療・教育・保健・ 福祉等関係者 5人
平成28年1月23日	白山市発達相 談センター	子どもと親を支える講演会	一般 35人

資 料

1 精神保健福祉相談状況(電話・来所・訪問)

(1) 相談区分別相談件数

区分		合計 (延)	老人精 神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健 康づくり	摂食障害	てんかん	その他
保健所												
南加賀 保健福 祉セン ター	電話	2,512	32	1,499	93	7	6	16	570	4	0	285
	来所(実123)	317	12	164	17	0	1	5	85	1	1	31
	訪問(実80)	361	2	174	10	0	0	1	104	0	0	70
石川中 央保健 福祉セン ター	電話	2,113	41	1,207	71	2	4	46	628	2	37	75
	来所(実99)	140	4	41	4	1	1	12	66	1	1	9
	訪問(実68)	199	13	101	3	0	0	1	74	0	6	1
能登中 部保健 福祉セン ター	電話	660	26	348	20	1	2	40	113	0	1	109
	来所(実88)	204	3	116	4	1	0	42	19	6	0	13
	訪問(実42)	126	2	79	1	0	0	6	20	0	1	17
能登北 部保健 福祉セン ター	電話	643	278	267	3	0	0	2	7	2	0	84
	来所(実41)	70	8	40	0	0	0	2	9	1	0	10
	訪問(実11)	22	4	11	0	0	0	6	1	0	0	0
金沢市 福祉健 康セン ター	電話	2,926	130	1,747	68	58	9	17	623	3	19	252
	来所(実238)	345	21	137	13	7	1	5	151	1	3	6
	訪問(実142)	429	28	243	7	11	0	0	96	0	2	42
保健所 計	電話	8,854	507	5,068	255	68	21	121	1,941	11	57	805
	来所(実589)	1,076	48	498	38	9	3	66	330	10	5	69
	訪問(実343)	1,137	49	608	21	11	0	14	295	0	9	130
こころの 健康セン ター	電話	7,810	168	5,363	33	19	18	257	735	19	1	1,197
	来所(実319)	1,749	6	220	13	12	15	306	903	2	0	272
	訪問(実11)	16	0	7	0	2	0	0	4	0	0	3

(2)年齢区分別相談件数

区分		合計	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明
南加賀保健福祉センター	電話 延	2,512	0	37	286	398	1104	320	293	68	6
	来所 実	123	0	8	27	27	28	11	10	10	2
	延	317	0	35	75	64	76	22	13	30	2
	訪問 実	80	0	5	12	19	22	12	7	3	0
	延	361	0	18	60	77	83	50	68	5	0
石川中央保健福祉センター	電話 延	2,113	1	73	318	325	529	557	216	37	57
	来所 実	99	0	11	17	16	25	11	13	6	0
	延	140	0	16	25	20	37	18	18	6	0
	訪問 実	68	0	2	11	10	16	14	13	2	0
	延	199	0	3	35	18	49	46	40	8	0
能登中部保健福祉センター	電話 延	660	0	36	50	119	87	184	115	20	49
	来所 実	88	0	17	13	17	15	9	5	6	6
	延	204	0	41	58	45	24	17	7	6	6
	訪問 実	42	0	1	6	10	6	9	7	2	1
	延	126	0	6	19	36	25	27	10	2	1
能登北部保健福祉センター	電話 延	643	0	8	16	7	218	97	280	8	9
	来所 実	41	0	6	6	4	10	4	8	3	0
	延	70	0	18	7	5	19	7	11	3	0
	訪問 実	11	0	1	0	2	6	0	1	1	0
	延	22	0	6	0	3	8	0	1	4	0
金沢市福祉健康センター	電話 延	2926	0	64	182	645	578	523	660	220	54
	来所 実	238	0	8	22	55	54	30	37	31	1
	延	345	0	12	30	74	83	43	60	42	1
	訪問 実	142	0	3	15	28	29	25	26	16	0
	延	429	0	4	27	90	85	67	124	32	0
保健所計	電話 延	8,854	1	218	852	1,494	2,516	1,681	1,564	353	175
	来所 実	589	0	50	85	119	132	65	73	56	9
	延	1,076	0	122	195	208	239	107	109	87	9
	訪問 実	343	0	12	44	69	79	60	54	24	1
	延	1,137	0	37	141	224	250	190	243	51	1
こころの健康センター	電話 延	7,810	20	263	706	1,766	2,027	2,279	294	86	369
	来所 実	319	3	56	94	77	51	22	10	5	1
	延	1,749	17	337	683	419	173	91	23	5	1
	訪問 実	11	0	1	5	3	2	0	0	0	0
	延	16	0	1	9	4	2	0	0	0	0

(3) 診断区別相談件数

区分		合計	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明
南加賀保健福祉センター	来所 実	123	3	6	13	30	3	4	0	3	7	1	1	1	7	44
	延	317	11	10	25	100	8	6	0	12	21	16	1	3	10	94
	訪問 実	80	2	2	13	23	3	0	0	0	7	2	0	0	4	24
	延	361	3	2	59	134	45	0	0	0	24	5	0	0	19	70
石川中央保健福祉センター	来所 実	99	0	3	17	11	13	1	0	1	5	0	1	6	27	14
	延	140	0	3	28	12	17	1	0	2	17	0	1	7	33	19
	訪問 実	68	1	3	20	9	9	0	1	2	6	0	2	1	12	2
	延	199	1	4	86	24	24	0	6	11	11	0	5	3	19	5
能登中部保健福祉センター	来所 実	88	1	5	13	13	2	2	0	0	4	0	0	0	0	48
	延	204	1	6	26	16	2	6	0	0	13	0	0	0	0	134
	訪問 実	42	1	2	15	4	1	0	0	1	2	1	0	0	0	15
	延	126	1	2	43	6	1	0	0	1	2	1	0	0	0	69
能登北部保健福祉センター	来所 実	41	2	0	17	4	3	1	0	1	5	0	0	0	1	7
	延	70	2	0	26	4	13	1	0	1	13	0	0	0	2	8
	訪問 実	11	0	0	7	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	延	22	0	0	13	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	2
金沢市福祉健康センター	来所 実	238	7	13	47	31	13	3	6	0	9	0	4	10	1	94
	延	345	16	23	69	44	18	3	18	0	19	0	4	14	1	116
	訪問 実	142	8	6	50	31	7	0	4	1	3	1	0	0	3	28
	延	429	21	18	215	73	20	0	8	4	4	1	0	0	3	62
保健所計	来所 実	589	13	27	107	89	34	11	6	5	30	1	6	17	36	207
	延	1,076	30	42	174	176	58	17	18	15	83	16	6	24	46	371
	訪問 実	343	12	13	105	67	20	1	5	4	18	5	2	1	19	71
	延	1,137	26	26	416	237	90	1	14	16	41	13	5	3	41	208
こころの健康センター	来所 実	319	0	5	13	40	19	2	5	8	27	3	0	0	133	64
	延	1,749	0	10	104	158	144	2	32	70	205	17	0	0	681	326
	訪問 実	11	0	1	1	2	0	0	1	2	3	0	0	0	1	0
	延	16	0	2	3	2	0	0	2	2	4	0	0	0	1	0

診断名はICD10に準ずる
こころの健康センターの「その他」は異常なし、非定型精神病、ナルコレプシーを含む

(4) 自殺・ひきこもり区分別相談件数(再掲)

保健所	区分	自殺	社会的ひきこもり			
			合計	18歳以下	19～29歳	30歳以上
南加賀保健福祉センター	来所 実	12	26	3	13	10
	延	21	113	29	48	36
石川中央保健福祉センター	来所 実	5	18	4	5	9
	延	9	41	4	15	22
能登中部保健福祉センター	来所 実	1	25	10	7	8
	延	2	104	27	46	31
能登北部保健福祉センター	来所 実	1	9	1	5	3
	延	2	15	1	10	4
金沢市福祉健康センター	来所 実	12	16	1	4	11
	延	18	24	1	5	18
保健所計	来所 実	31	94	19	34	41
	延	52	297	62	124	111
こころの健康センター	来所 実	24	103	12	60	31
	延	106	839	101	516	222

2 普及啓発活動

保健所	区分 内容	講演会			その他		
		回数	人数	主なテーマ 対象	回数	人数	対象
南加賀保健福祉センター	自殺防止対策地域連絡会	2	78	医療機関、民生委員、教育関係、福祉関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	4	103	ゲートキーパー講習 一般企業衛生管理者、健康管理担当者
		4	750	自殺予防街頭キャンペーン(小松・加賀・能美・川北)	一般住民		
	自殺防止対策研修会	2	78	医療機関、民生委員、教育関係、福祉関係、ボランティア、各種団体、社協、警察、消防、市町	1	29	母親のメンタルヘルス支援連絡会 管内精神科、産科、小児科医療機関、市町
		1	27	母親のメンタルヘルス支援研修会及び事例検討会 管内精神科、産科、小児科医療機関、市町、助産師会			
1	54	自殺未遂者支援研修会 管内救急告示医療機関、消防署救急隊員等					
石川中央保健福祉センター				1		FM-N1 一般住民	
				5		管内広報「こころの健康相談」 一般住民	
				5		管内広報「ひきこもり家族教室」 一般住民	
				5		管内広報「うつ病家族教室」 一般住民	
				5		管内広報「アルコール依存症家族教室」 一般住民	
				5	923	自殺予防啓発普及キャンペーン 一般住民	
				4	7	ハローワークにおける総合相談会 一般住民	
				随時	3498	自殺予防キャンペーングッズ配布 一般住民等	
能登中部保健福祉センター				1	30	不登校・ひきこもりに関する講演会「子どもの生きる力を育てる関わり方」 ひきこもり家族、支援者	
				11	492	ゲートキーパー養成講座 市町職員、民生委員、健康づくり推進委員、海上保安部職員、理容組合員、ワクラ村田全職員、不登校・ひきこもりに関する家族や支援者、ひきこもりネットワーク会議参加者、介護サービス事業者、一般科医	
				4	6	ハローワークで包括相談会(相談者6名、自殺予防啓発グッズ配布) ハローワーク来所者	
能登北部保健福祉センター				1	14	アルコール依存症の基礎的理解と相談窓口における対応について 医療機関、警察、市町等	
				3	50	ゲートキーパー研修 建設業協会会員	
				88		自殺予防啓発パンフレットやグッズの配布 美容師	
				54		特定給食施設等調理担当者	
				3	320	街頭キャンペーン 一般住民	
				4	1130	グッズの配布 食品衛生責任者	
金沢市福祉健康センター				3	83	地域ゲートキーパー研修会 地区住民	
				1	16	自殺防止対策庁内相談窓口担当者連絡会・ゲートキーパー研修会 職員	
				1	44	自殺予防研修会 職員	
				1	38	メンタルヘルスボランティア合同学習会 活動ボランティア	
				15	528	こころの健康づくり 家族会員、学生、ボランティア大学受講生、女性学級、ボランティア、職員、子ども広場利用の親子、地区住民	
				1	32	講話「精神保健福祉の現状」 ボランティア大学校福祉健康コース受講者	
				1	65	講話「メンタルヘルス こころの健康を守る」(ゲートキーパー研修含む) 西部管理センター	
				1	21	講話「メンタルヘルス研修」(ゲートキーパー研修含む) 金沢海上保安部	
						ケーブルテレビ 自殺予防デー 自殺予防デー 統一街頭キャンペーン	
						FMラジオかなざわ「いいね金沢みみより情報」 金沢版ゲートキーパー手帳増刷・配布	

3 関係機関・団体との連携

保健所	区分 内容	関係機関			関係団体					
		回数	出席人数	内容	対象	回数	出席人数	内容	対象	
南加賀 保健福祉センター		2	24	小松市虐待等防止協議会(DV対策部会)	小松市	5	53	小松・能美メンタルヘルスポランティア友 の会役員会	小松・能美メンタルヘルスポラン ティア友の会	
		2	34	小松市虐待等防止協議会(いのちと心の部会)	小松市					
		2	19	小松市自立支援協議会 地域移行・地域定着支 援事業推進にかかるワーキンググループ	小松市	12	81	定例会	こころのどあ加賀	
		2	14	障害者自立支援協議会(児童デイ活動チーム会 議)	小松市					
		27	137	精神事例検討会	小松市					
		12	144	母子支援事例検討会	小松市					
		2	90	自立支援協議会	加賀市					
		2	16	自立支援協議会(つながりの輪ーキング)	加賀市					
		16	74	精神事例検討会	加賀市					
		12	180	母子支援事例検討会	加賀市					
		1	9	能美市虐待防止協議会DV対策部会	能美市					
		1	17	能美市自殺防止対策連絡協議会	能美市					
		4	21	精神事例検討会	能美市					
		12	108	母子支援事例検討会	能美市					
		2	5	精神事例検討会	川北町					
		12	12	母子支援事例検討会	川北町					
		3	28	精神保健福祉担当者連絡会	各市町					
		3	12	自殺担当者連絡会	各市町					
		3	12	自殺未遂者支援連絡会	小松市民病院					
		2	11	精神障害者地域療養支援事業研修会幹事会(研 修打ち合わせ)	粟津神経サナトリウ ム					
		11	102	精神事例検討会	金沢保護観察所					
		1	12	相談支援ネットワーク連絡会	大聖寺警察署					
		1	3	ブロック担当者会議	管内警察署					
		1	16	障害者雇用連絡会議	小松公共職業安定 所					
		1	14	加賀地域障害者雇用連絡会議	加賀公共職業安定 所					
		10	63	生活困窮者自立支援調整会議	こまつ安心相談セ ンター					
	石川中央 保健福祉センター		2	169	白山市障害者等自立支援協議会全体会	市町、福祉事務所、 相談支援事業所	8	49	月例役員会・ちよに会総会	精神障害者家族 会
		7	63	白山市障害者等自立支援協議会メンタルヘルス 支援検討部会						
		5	50	白山市障害者等自立支援協議会若者支援検討 ワーキング						
		2	71	白山市障害者等自立支援協議会すまいのあり方 検討部会						
		4	76	共生の街づくり専門委員会(障害者差別解消法 に基づく委員会)						
		3	51	認知症初期集中支援チーム設置準備会						
		1	34	野々市市虐待等協議会						
		1	19	野々市市障害者自立支援協議会						
		2	28	野々市市虐待防止等協議会障害者虐待防止部会						
		1	56	かかりつけ医等認知症対応力向上委員会(事例 検討)						
		2	60	かほく市自立支援協議会						
		7	60	かほく市自立支援協議会PR部会						
		2	24	内灘町自立支援協議会						
		6	51	ケア会議(県関連主催)						
		10	78	ケア会議(市町)						
		4	36	ケア会議(相談支援事業所主催)						
		12	106	ケア会議(病院主催)						
		3	15	事例検討会(HC主催)						
		1	12	事例検討会(市町主催)						
		2	20	管内精神保健福祉担当者連絡会						
		4	37	精神障害者地域療養支援事業打ち合わせ						
		1	19	精神保健福祉地域関係者連絡会	医療機関、消防署					
		1	10	警察と保健所等職員とのブロック別担当者連絡会	警察					
		1	4	松任中央病院精神科救急医療体制打ち合わせ	医療機関					
		1	35	地域学校保健委員会	学校関係					
		1	136	石川県立大学健康科学の授業にてこころの健康 についての講話						

保健所	区分 内容	関係機関			関係団体					
		回数	出席人数	内容	対象	回数	出席人数	内容	対象	
能登中部 保健福祉センター		12	197	七尾市・中能登町地域自立支援協議会	七尾市・中能登町	2	20	みそぎ会(総会、定例会)	精神障害者家族会	
		3	49	自殺対策連絡会・委員会	七尾市	1	7	心明会(総会)		
		7	169	羽咋郡市障害者自立支援協議会	羽咋郡・市	6	46	能登中部圏域家族交流会事業	メンタルヘルスポランティア	
		1	24	羽咋郡市自殺未遂者支援連絡会	消防、警察、救急告示医療機関、精神科病院、市町、こころの健康センター、保健所	7	94	花の会(総会、定例会、20周年記念式典)		
		10	106	医療観察対象者のケア会議	保護観察所、関係医療機関等					
		1	32	不登校・ひきこもりに関するネットワーク会議	市町教委・各高校・適応指導教室・教育センター・教育事務所・特別支援学校・児童相談所・こころの健康センター・発達障害支援センター・市町精神担当、保健所					
		1	33	地域生活支援事業地域連携会議	精神科病院、保健福祉関係機関、地域事業所、救護施設、保護観察所、県障害保健福祉課、保健所					
		2	18	事例検討会	七尾市					
		8	99	事例検討会	羽咋市					
		10	85	事例検討	公立能登総合病院					
		4	33	事例検討	七尾松原病院					
		4	23	事例検討	高松病院					
		1	14	事例検討	更生園					
		3	4	同行訪問	七尾市					
		4	4	同行訪問	羽咋市					
		4	5	同行訪問	中能登町					
		9	11	同行訪問	志賀町					
		4	10	同行訪問	警察					
		21	23	同行訪問	相談支援事業所					
		9	9	同行訪問	訪問看護ステーション					
能登北部 保健福祉センター		3	115	自立支援協議会輪島市連絡会	保健、医療、福祉等の関係者	1	10	精神障害者家族会(輪水会)の総会	精神障害者家族会	
		2	24	自立支援協議会穴水町連絡会						
		1	15	自立支援協議会能登町連絡会			12	51	断酒会及び酒害相談	断酒会
		7	102	自立支援協議会就労部会						
		6	44	ケア会議						
		4	28	支援者会議						
		1	19	精神障害者地域生活支援事業		精神科医療機関、市町、一般相談支援事業所、訪問看護ステーション				
		2	26	市自殺対策連絡会	病院、警察署、消防署、市職員、教育委員会、社会福祉協議会					
	2	37	障害福祉サービス事業所の総会	障害福祉サービス						
金沢市 福祉健康センター		86	676	ケース会議	病院関係者、福祉関係者等	4	52	泉の会家族会、金沢市連合家族会総会	精神障害者家族会	
		3	50	事例検討会		1	9	鳴和の里すぎな家族会例会		
		2	14	事業所支援、講話	障害福祉サービス事業所	3	34	家族会総会・定例会		
						1	2		断酒会	
		1	1	指導者の相談等	地域活動支援センター	26	193	ボランティアグループへの活動支援	メンタルヘルスポランティアグループ	

4 家族教室及びメンタルヘルス講座

(1) 家族教室

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	1	12	12	アルコール依存症家族教室 (講演「アルコール依存症の理解と対応」)
	1	25	25	うつ病家族教室 (講演「うつ病の理解と対応」)
	1	31	31	ひきこもり家族教室 (講演「ひきこもりの理解と対応」、当事者からのメッセージ)
石川中央保健福祉センター	2	37	46	うつ病家族教室 (講演「うつ病の対応と支援」)
	1	10	12	アルコール依存症家族教室 (講演「アルコール依存症への対応」)
	14	36	44	ひきこもり家族教室 (グループワーク、学習会、座談会、個別相談など)
能登中部保健福祉センター	1	12	12	ひきこもり家族教室 (講演「ひきこもりの気持ちと対応」)
	7	3	12	ひきこもり家族交流会
	1	10	10	うつ病家族教室 (講演「うつ病の理解と対応」)
	1	7	7	アルコール関連問題家族教室 (講演「お酒の問題について考える」)
能登北部保健福祉センター	5	4	11	ひきこもり家族教室
金沢市福祉健康センター	48	3	55	ひきこもりサロン

(3) メンタルヘルス講座

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	0	0	0	
石川中央保健福祉センター	2	61	61	ゲートキーパー養成
	1	61	61	健やかファミリーライフ事業にてココロの健康づくりについて
能登中部保健福祉センター	2	192	192	メンタルヘルス講座(ゲートキーパー講座を含む) (対象:ワクラ村田製作所全職員)
	1	29	29	メンタルヘルス講座、ゲートキーパー講座 (対象:七尾海上保安部職員)
能登北部保健福祉センター	0	0	0	
金沢市福祉健康センター	0	0	0	

5 集団指導活動(精神障害者社会復帰相談指導事業)

保健所名	回数	実人数	延人数	内 容
南加賀保健福祉センター	7	4	18	ひきこもり自助グループ (話し合い、軽スポーツ、ゲーム等)
石川中央保健福祉センター	0	0	0	
能登中部保健福祉センター	11	3	23	青年期グループ (気分調べ、1ヶ月の出来事、ストレッチ、本日の活動)
能登北部保健福祉センター	0	0	0	
金沢市福祉健康センター	48	3	55	ひきこもりサロン

6 こころの健康センター貸出しビデオ・DVD一覧

(ビデオテープ(VHS方式)・DVD含む)

(平成28年3月現在)

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
児 童	2101	SOSからの笑顔へ ～いじめ登校拒否から自立を待つ～	60分	小・中 高・一	ビデオ	登校拒否の生徒を立ち直らせた事例の紹介
	2102 ～ 2106	子育てたまご(1)～(5)	各60	一般	ビデオ	0歳～小学生の子供について、親子・育児・あそび・食事などテーマ別に描いた家庭教育ビデオ
	2107	よい子のため息S・O・S	30	母親	ビデオ	子どものため息をついてる。(悩んでいる)
	2108	いじめ	30	中高生	ビデオ	先生は動いてくれなかった。先生は信じてくれない。仲間はずれが一番つらい。
	2109	あなたの心、元気ですか!	20	一般	ビデオ	高校生及び、心の病を理解し、どのように対処するか の工夫を考え、学ぶことを目的としたビデオ。
	2110	夢はお母さんと二人っきり	32	母親	ビデオ	幼児は、妹や弟が出来ると母親を独占したいと思 うようになる。
	2111	子育てに自信をなくしているあなたへ	15	育児者	ビデオ	育児の悩みの解消策について。
	2112	子ども虐待防止対策ビデオ 「MCGとは何か」	15	母親	ビデオ	MCGとは東京都世田谷区の取り組みで、母と子の関係 を考える会(グループミーティング)のこと
	2113	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD1	284	児童	DVD	「ゴーゴーもるもくん」「恐竜あいうえお」「まちを つくるじどうしゃ」他5編
	2114	障害のある子ども達に読書の楽しみを マルチメディアDAISY書籍 CD3	336	児童	DVD	日本の昔話17編、他2編
	2115	「交通事故で家族を亡くした子どもの 支援」に関するシンポジウム基調講演 子どもと死 その理解と支援	52	一般	DVD	制作・著作：内閣府 講師：武蔵野大学人間科学部 教授 藤村和美
こ こ ろ の 健 康	2201	職場ストレスと健康 第1集 ストレスとは	16	一般	ビデオ	ストレスとは、人間の心と体に対して外部からの 社会的・精神的・肉体的刺激が加わり、心身にマイ ナスが生じた状態。
	2202	職場ストレスと健康 第2集 職場ストレス	18	一般	ビデオ	複雑な人間関係や過大な残業により、神経症やうつ状 態に陥る人が増えた。
	2203	職場ストレスと健康 第3集 職場ストレスと健康防衛	19	一般	ビデオ	ストレス症候群に対するには、ストレスの防衛を考 える。
	2204	小比木敬吾による症例分析	30	一般	ビデオ	慶應義塾大学医学部精神神経科助教授、小比木敬 吾氏の講演。(メンタルヘルスを各職場、企業の中 で実践する方法について)
	2205	セルフコントロール医学への道	58	一般	ビデオ	東大医学部分院心療内科長、石川・中氏の講演。(患 者自身が、病理について熟知し、自分で自分の心身を セルフコントロール出来るようにする)
	2206	うつの時代	30	一般	ビデオ	日本精神病院協会会長、斉藤茂太氏のうつに関する講 演会。
	2208	現代人のメンタルヘルス (心の病気)	29	一般	ビデオ	神経症・心身症・精神分裂病・うつ病・そうつ病・ アルコール依存症などが一般的。
	2209	管理・監督者のための ストレスマネジメント	40	管理者	ビデオ	管理者として部下のストレス対策は、どうあるべき か。
	2210	中・高年期の精神保健	23	一般	ビデオ	65歳以上の老人の2割程度が、何らかの心の病気を 持っている。老人の心の病気を説明。
	2211	その場でできるやさしい疲労回復法健康 ストレッチング	20	一般	ビデオ	デスクワークの人達のために、ストレッチングを 中心として様々な疲労回復方法を教示する。
	2212	災害と心のケア	42	一般	ビデオ	災害等の非常時に遭遇した時に、心的障害に対し てどのように対処すべきか。
2213	開く・かける-つなぐ～精神保健ボラン ティア～いっしょにいこうよ～	39	一般	ビデオ	いろいろな精神保健ボランティアを紹介すると共 にその大切さを訴える。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内容
こころの健康	2214	開く-かける-つなく ~精神保健ボランティアもっとちかくに~	43	一般	ビデオ	作業所等にボランティアが集う。
	2215	おかえり	99	一般	ビデオ	新婚の妻が幻覚妄想状態になったが、治療を拒む妻の要求を受け入れた夫が一晩の入院で退院させることになる映画。
	2216	小さなほほえみのために ~乳幼児突然死症候群 SIDS から赤ちゃんを守る~	5分	一般	ビデオ	2千人に1人の割合で死亡者が発生。眠っている間に死ぬ。1歳未満の赤ちゃん。
	2217 1	企業戦士のメンタルヘルス 五月病症候群	20	一般	ビデオ	五月病は学生は受験後、新社会人は社内研修が終わった後等次の環境にうまく順応出来ない人(まじめな人、過保護の人、交際相手の少ない人等)が危ない。
	2217 2	企業戦士のメンタルヘルス 入社拒否症候群	20	一般	ビデオ	ア心身症イ軽症うつ症ウ無気力症エずる休み型に分類され、ア及びイのタイプが断然多い。
	2217 3	企業戦士のメンタルヘルス 燃えつき症候群	20	一般	ビデオ	無気力になる。仕事熱心、有能な人、几帳面な人、ゆとりや融通性に欠ける人が危ない。
	2217 4	企業戦士のメンタルヘルス 帰宅恐怖症候群	16	一般	ビデオ	家へ帰りたくても、家庭に父親の存在場所が無いため帰れない。クリニックへ駆け込み寺のように駆け込んでくる。妻の言動の影響が大きい
	2217 5	企業戦士のメンタルヘルス スーパーウーマン症候群	20	一般	ビデオ	スーパーウーマン症候群とは、スーパーウーマンになろうとして起きてくるストレス精神障害 職場の第一人者 妻として充実した家庭 母親としての子育て等を望む。
	2218	根絶！夫からの暴力 あなたは悩んでいませんか？	27	一般	ビデオ	平成13年4月に配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律が施行された。
	2219	心だって風邪を引く ~メンタルヘルス対策を進めよう！~	41	一般	ビデオ	平成12年8月に、労働者から発表された事業場における労働省のこころの健康づくりのために指針について。
	2220	ドメスティクバイオレンス犯罪です	20	一般	ビデオ	日本各地に駆け込みシェルターがある。
	2221	再出発へのサポート ~女のスペース・駆け込みシェルターの現場から~	18	一般	ビデオ	DVから逃れてくる女性達の駆け込みシェルターの現状と問題点を描く。
	2222	米国東海岸の挑戦 前編	23	一般	ビデオ	ボストン・ケンブリッジをはじめとする米国東海岸地域におけるドメスティクの被害者へのサポート。
	2223	米国東海岸の挑戦 後編	21	一般	ビデオ	マサチューセッツ州における、加害者への対象は進んでいる。ある被害者女性へのサポート状況を紹介。
	2224	ひきこもり心と向き合うには	73	一般	ビデオ	ひきこもりの子供を持つ家族の心構えについて。
	2225	あなたの心元気ですか！	19	高校生	ビデオ	多感な時期にある高校生が心の病を理解し、どのように対処するか工夫を考える、学ぶために制作された。
	2226	ストーカー対策 女性が身を守るために	30	女性 一般	ビデオ	ストーカー犯罪を中心に、女性が被害者になる犯罪事例をドラマ再現し、対策を解説。
	2227	なくせ！ストーカー！ 心の闇に潜むもの	40	女性 一般	ビデオ	ドラマを用い、ストーカー犯罪をわかりやすく解説。ストーカー被害に遭わないようにし
	2228	映像版・いいかげんに生きよう	22	一般	ビデオ	摂食障害者の自助グループ NABA 活動編。
	2231	こころの傷に寄り添って	31	一般	ビデオ	災害・被害のトラウマとこころのケア
	2232	広がる子どものうつ病	40	一般	ビデオ	
	2233	自助グループ活動の進め方	30	一般	ビデオ	交通事故被害者遺族の自助グループ支援ビデオ
	2234	自殺対策マニュアル		一般	DVD	地域や職場等の現場で自殺対策に取り組む従事者のために
	2235	統合失調症の人の回復力を高める 回復力を高める接し方	95	一般	DVD	統合失調症の症状、治療、再発予防について 基本的な講義

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
こころの健康	2236	統合失調症の人の回復力を高める ドラマで学ぶ回復力を高める会話	85	一般	DVD	ご本人との具体的なコミュニケーションについて実際のやりかたを学ぶ
	2237	統合失調症の人の回復力を高める 家族の SST の進め方	45	一般	DVD	病気のご本人とのよりよいコミュニケーションについて家族が集まって考える。
	2238	こころの病気を学ぶ授業 ～統合失調症～		一般	DVD	2008 年普及活動及び授業実施報告
	2239	眠れなくなった父さんヒツジ	30 分	一般	DVD	うつ病の人の 94%に「睡眠障害」があると報告されています。
	2240	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人にあなたができること～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2241	こころのサインに気づいたら ～悩んでいる人との向き合い方について～	11	一般	DVD	悩んでいる人との向き合い方について。
	2242	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2243	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (被災地対応編)	152	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2244	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (講義編・資料編)	91	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2245	スッキリ睡眠でイキイキと	36	一般	DVD	睡眠の基礎知識について。
	2246	睡眠保健指導 No.1	23	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の意義と重要性について。
	2247	睡眠保健指導 No.2	25	保健指導者	DVD	睡眠保健指導の具体的な方法について。
	2248	こころのサインに気づいたら～ゲートキーパー養成研修用 DVD～ (地域対応編・心得編)	144	一般	DVD	ゲートキーパー養成研修用 DVD
	2249	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 1 巻 うつ病って何だろう	70	一般	DVD	うつ病と付き合っていくために知っておきたい大切な事柄について。
	2250	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 2 巻 うつと生きる	104	一般	DVD	うつとともに生きてきたある会社員の 17 年間の葛藤の軌跡。
	2251	NHK 厚生文化事業団福祉ビデオ シリーズ うつ病 第 3 巻 ふたたび職場へ	82	一般	DVD	神奈川県川崎市にある武田病院のリワークプログラムを紹介。
	2252	平成 19 年度 いしかわ夢広場 3		児童	DVD	平成 19 年度に放送した「心の教育」ラジオ広報番組「いしかわ夢広場」の中から、子どもたちに親しみやすいお話を 6 編収録。
	2253	2012 年 世界精神保健デー うつ病：世界的危機		一般	DVD	
	2254	スポーツ祭東京 2013 精神障害者 フットサル		一般	DVD	精神障害者のフットサル大会。
	2255	石川県ゲートキーパーDVD かけがえのない命をまもるために あなたもゲートキーパー	18	一般	DVD	ゲートキーパーの役割について。
2256	うつ病者の社会的支援のための客観的指標・運動プログラムの開発～医療モデルからソーシャルモデルへ～	39	専門職	DVD	立教大学コミュニティ福祉研究所の研究記録。	
老人精神保健	2301	花いちもんめ	127	一般	ビデオ	老人性アルツハイマー型痴呆症の男性に振り回される家族と親族の苦悩を描いた映画。
	2302	ぼけのお年寄り介護	22	一般	ビデオ	高齢化社会の到来を見越し、ぼけのお年寄り介護の方法が真剣に探し求められている。
	2303	痴呆性老人の介護者のために ～心の旅路～	77	一般	ビデオ	在宅老人（一人暮らし）に対する訪問看護の仕方について。
	2304 ～ 2305	痴呆老人の介護（1）（2）	各 20	一般	ビデオ	痴呆老人の特徴（症状）とそこのかかわりについて解説。
	2306	痴呆性老人の在宅介護！ ～ぼけの病状に対応するために～	24	一般	ビデオ	ぼけの老人に対する在宅介護の仕方について。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
老人 精神 保健	2307	痴呆性老人の在宅介護！ ～ボケのお年寄りの正しい理解 のために～	25	一般	ビデオ	千葉県にある稲毛ホワイエの紹介。(週3日、 昼間の間、ボランティアの人達がボケのお年 寄りの世話をする施設)
	2308	痴呆性老人の家庭介護！！ ～痴呆の理解とサービス～	32	一般	ビデオ	痴呆とはどのようなものかを教示すると共 に、痴呆性老人の家庭介護方法を教える。
	2309	痴呆性老人の家庭介護！！ ～家庭介護の実際～	28	一般	ビデオ	家庭介護の基本的な心構えを、3人の体験者 談を参考にまとめた。
	2310	心がうごけば身体も動く(上)	23	一般	ビデオ	楽しくリハビリに取り組む老人の姿を描いたもの。 どうしても自分の足で立ってみたい！
	2311	雪見橋は行く	25	一般	ビデオ	岩手県の豪雪地帯にある二つの村の老人医療面 での画期的な成果を描いたもの。
	2312	熟年の季節	60	一般	ビデオ	
	2313	パッチンして！おばあちゃん	90分	一般	ビデオ	
	2314	もし痴呆が起きたらアルツハイマー型 老年痴呆の介護編	23	一般	ビデオ	アルツハイマー型痴呆老人に対する介護の仕方 について。
	2415	ひとりぼっちをなくそう	40	一般	ビデオ	精神障害者本人の会の紹介
	2316	おとしよりの介護「第8巻」	37	一般	ビデオ	痴呆性老人の問題行動と予防のてだてについて説明。
	2317	人は薬 痴呆性老人と介護のコツ	25	一般	ビデオ	痴呆性老人に対する介護の仕方について。
	2318	老いを楽しく美しく	25	一般	ビデオ	
	2320	2013年 世界精神保健デー 高齢者のメンタルヘルス		一般	DVD	
精 神 保 健	2401	君は空の青さを知っているか	24	一般	ビデオ	神奈川県における各作業所の取り組みを描いたもの。
	2403	150万人の訴え	29	一般	ビデオ	全国で150万人の精神障害者が、世間からの偏見と差 別で苦しんでいる。
	2404	つらい養成巴病院(釧路のロマン)	40	一般	ビデオ	ある医者が、釧路で「人間解放」「自然に帰れ」を理 念とした画期的な病院を開設した。
	2405	ひとりぼっちじゃない ～自立するファウンテンハウス～	35	一般	ビデオ	ニューヨークにある精神障害者の社会復帰施設、ニ ューヨークファウンテンハウスの紹介
	2406	僕たちのみた青い空	24	一般	ビデオ	神奈川県内の患者会「やまゆり会」の活動の様子を描 いたもの
	2407	正しい知識は回復への道	14	一般	ビデオ	統合失調症は、正しい知識があれば治る病気であ る。
	2408	ゆっくり治療し再発を防ごう	14	一般	ビデオ	統合失調症の治療と再発を防ぐ方法。
	2409	私たちは家族 ～アメリカ家族会発展の秘密～	25	一般	ビデオ	ナミ「NAMI」(日本語で言う全家連)についての発 展とその紹介
	2410	支えあうなかで ～精神障害者とその仲間たち～	35	一般	ビデオ	JHC板橋と作業所「えごのみ」の紹介。
	2411	精神障害者が受けられる税制上の 特典	11	一般	ビデオ	精神障害者には、各種税金にかかる基礎控除、非課 税減免が認められている。
	2412	今ここにいきる ～精神障害者と共に～	30	一般	ビデオ	高知県における精神保健活動の紹介。
2413	ここにおいでよ ～精神障害者を支える地域作業所～	30	一般	ビデオ	地域作業所の紹介	
2414	知っておきたい薬の知識	15	一般	ビデオ	統合の治療薬についてわかりやすく説明。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
精 神 保 健	2416	サンフランシスコのハーフウェイハウス	20	一般	ビデオ	サンフランシスコで活発に活動している病院と家庭の中間にあたる施設の紹介。
	2419	全家連 30 年のあゆみ	31	一般	ビデオ	日本全家連の生い立ちから現在までの歴史。
	2420	あちこたねえ ～精神障害者の地域生活支援～	30	一般	ビデオ	新潟県のすもん村にある通所授産施設の紹介。「あちこたねえ」とはもうだいじょうぶという意味
	2430	僕たちは飛行機に乗った	41	一般	ビデオ	通所授産施設「またたびの家」のメンバーが、飛行機で沖縄旅行した記録。
	2431 ～ 2432	精神障害者ケアマネジメント 第 1 巻 第 2 巻	38 48	一般	ビデオ	精神障害者マネジメントの進め方について説明。
	2433	精神保健福祉ビデオシリーズ 精神障害者をもつ人への援助の実際	23 分	一般	ビデオ	病院と患者の中間施設として諸々の施設が存在する。
	2434	精神保健福祉ビデオシリーズ 精神障害者をもつ人のケアマネジメント	21	一般	ビデオ	基本的な考え方を基に、諸々の取り組みが行われている。
	2435	精神保健福祉ビデオシリーズ ノーマライゼーション	27	一般	ビデオ	精神障害者には対するノーマライゼーション社会の現実を目指す。
	2436 ～ 2437	あせらずにゆとりをもってむりしない 前編 後編	38 30	一般	ビデオ	統合失調症を中心とした精神障害の心理教育のためにつくられたビデオ。
	2438	心理 教育による精神障害者の家族支援	34	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2439	統合失調症を生きる 妄想編その1 ～四六時中のぞかれていた七年間～	32	一般	ビデオ	23 歳で統合失調症を発症した女性の、七年間にわたる戦いを描いたもの。(べてるの家)
	2440	統合失調症を生きる 妄想編その2 ～ヒーローたちの戦い～	35	一般	ビデオ	20 代で統合失調症を発症した男性の体験を、同じ経験を持つ仲間と語り合う様子を描いたもの。(べてるの家)
	2441	今日の精神科入院医療 ～心の病気を克服するために～	26	一般	ビデオ	18 歳の大学受験生が統合失調症診断され医療保護入院となるが順調に回復し通院治療となる。精神保健福祉法と解説と一般的な治療法を紹介。
	2442	精神保健福祉ビデオシリーズ！！ 共生の時代へ第 4 巻ピアカウセリング	23	一般	ビデオ	ピアカウセリングの実際と概要。
	2443	正しく理解し回復を目指そう	20	一般	ビデオ	2407、2408、2414 の改訂版
	2444	薬の作用と上手な付き合い方	20	一般	ビデオ	統合失調症があり、今は両親と療養生活を送る男性を例として精神障害者の家族に対する心理教育の大切さを訴える。
	2445	この街で自分らしく生きる	20	一般	ビデオ	体験談を交えながら、地域で暮らしていく上で活用できる社会資源について紹介。(ベテルの家)
	2446	コートに輝く笑顔と汗	35	一般	DVD	精神障害者バレーボール全国大会の様態を紹介。
	2447	ピアカウセリングセミナー基礎編シリーズ	284	一般	DVD	ピアカウセリングを共に学ぶ仲間づくり。
	2448	17 歳のカルテ	126	一般	ビデオ	精神科入院の 17 歳が自分自身を取り戻す。
	2449	第 1 回精神障害者就業支援中央セミナー		一般	ビデオ	精神障害者雇用について
	2450	～偏見を乗り越えて～ 癒しの揺りかご精神科医療		一般	ビデオ	精神科医療について
	2453 ～ 2456	N(ネガティブ)からP(ポジティブ)へのすすめ～東尋坊からのメッセージ～(パート1～9)		一般	DVD	人生相談を受けた時に会話した内容。

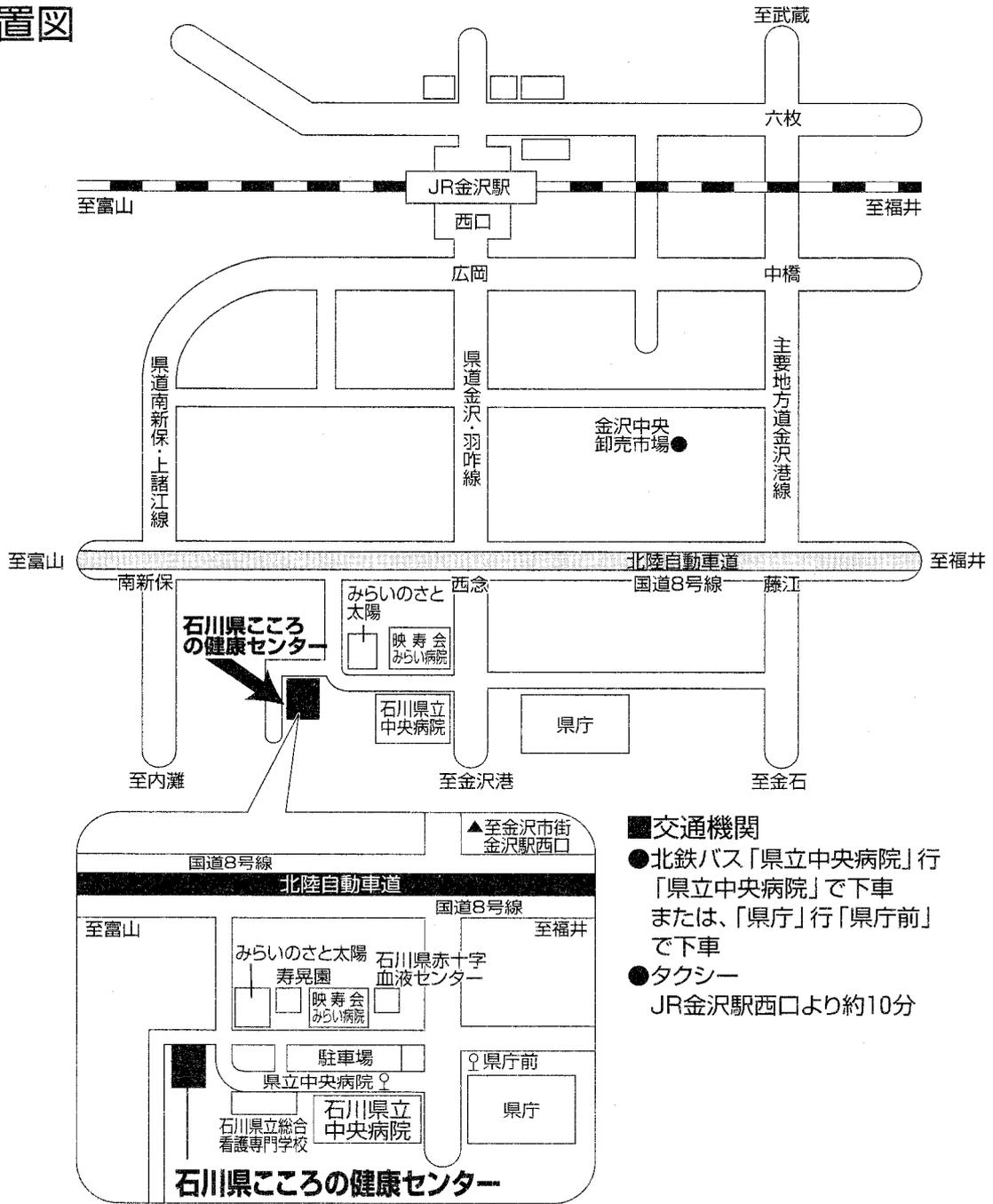
分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
精神保健	2457	摂食障害者の自助・ピアサポートグループ NABA 活動紹介映像 映像版「いいかげんに生きよう」	20	一般	DVD	活動内容や摂食障害を経験したメンバーのメッセージなど。
	2458	2014年 世界精神保健デー 統合失調症と共に生きる		一般	DVD	
アルコール関連	2501	アルコールの害シリーズ～酒害の予防～	26	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している。
	2502	アルコールの害シリーズ ～10代の飲酒問題～	28	一般	ビデオ	最近の犯罪の多くはアルコールと関連している 10代の飲酒問題は極めて深刻な社会問題となっている。
	2503	アルコールの害シリーズ ～アルコール依存者の家族～	14	一般	ビデオ	家族と入院患者が、ファミリーウィークに話し合いをする。(アメリカ)
	2504	アルコールの害シリーズ ～女性とストレス～	21	一般	ビデオ	ある薬物、アルコール依存者の女性の事情を描く。
	2505	アルコールの害シリーズ ～胎児性アルコール症候群～	10	一般	ビデオ	妊娠中の女性がアルコールを飲むと、胎児性アルコール症候群の赤ちゃんが産まれる。
	2506	アルコール依存症とは	28	一般	ビデオ	アルコール依存の症例をドキュメントタッチの再現ドラマに仕立てて解説。
	2507	アルコール依存症の心理	20	一般	ビデオ	依存症者の心理状態に迫る。
	2508	アルコール依存症 ～家族の心理～	23分	一般	ビデオ	依存症者を取り巻く家族の心理の変化・接し方について。
	2509	アルコール依存症 ～アルコール依存症から回復～	27	一般	ビデオ	スリップ(再飲酒)の兆候・その早期発見から対応まで。
	2510	アルコール依存症 ～酒なし生活術～	20	一般	ビデオ	断酒に失敗しないためのノウハウをあらゆる角度から追求。
	2511	酒とバラの日々	122	一般	ビデオ	ある若い夫婦がアルコールによって、共に墜落の人生に落ち込んで行く様子を描いた映画。
	2512	老化と飲酒	26	一般	ビデオ	老人は、適正飲酒を心がけること。
	2513	アルコールと循環器	20	一般	ビデオ	アルコールは、肝臓はもとより心臓にも多大な影響を与える。
	2514	肝臓とアルコール代謝	29	一般	ビデオ	アルコールに対する肝臓の働きを解説したもの。
	2515	あと一杯が飲めるか ～ソーシャルドリンカーへの手引き～	43	一般	ビデオ	日頃、適正飲酒の指導などを行っている保健師さんが、飲酒によって起こる障害を予防するにはどうしたらよいかを精神科医と内科医に教示をうけた。
	2516	酒飲み上手は生き上手	16	青少年	ビデオ	若いあなたへ、上手な飲酒のアドバイス。飲酒量の単位とは何か、肝臓の処理能力は、1単位の消化に3時間必要である。妊娠中の女性の飲酒は絶対危険。
	2517	お酒と人生 ～飲み方・酔い方・楽しみ方～	17	一般	ビデオ	飲酒に関して、1単位ではほろ酔いかげん・2単位では本格的な酔い、体温が上昇、脈がはやくなる・3単位ではめいてい期、気が大きくなっておこりっぽくなる。
	2518	アルコールキッド ～今、お酒にはふれないで～	9	青少年	ビデオ	若年者が飲んだアルコールは脳細胞の破壊を進める。又、肝臓で分解されてアセトアルデヒドに酸化されるが、これを分解する酵素の働きが弱い。
	2519	未成年者とアルコール	23	未成年者	ビデオ	未成年者の飲酒とイッキ飲み障害の防止を訴える。
	2520	アルコール依存症 ～依存症の概要～	29	一般	ビデオ	酒を止められない病気である。アルコール離脱症状の出現。断酒以外に回復の道がない。
2521	アルコール依存症～ケース事例～	35	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。	
2522	アルコール依存症～専門職の活動～	33	一般	ビデオ	アルコール依存症者に対する相談・援助窓口について。	
2523	お年寄りとお酒の付き合い方	28	一般	ビデオ	お年寄りがお酒を飲むときの注意点について。	
2524	お年寄りとお酒の対策 ～アルコール依存症は病気です～	22	老人	ビデオ	ある老人のアルコール依存症の実例。回復の方法を教示。応神のアルコール依存症は年々増えている。	
2525	もうひとつの人生(上)	45	一般	ビデオ	アルコール依存症になった人々の事例。	
2526	もうひとつの人生(下)	55	一般	ビデオ		

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
アルコール コ ー ル 関 連	2528 ~ 2531	アルコール依存症への道 (1) ~ (4)	各 20	一般	ビデオ	予防編(女性むけ、一般飲酒むけ) 回復編(家族むけ、依存症本人むけ) に分けて、説明。
	2532	未成年者にアルコールなんかいらぬ	36	未成年者	ビデオ	最近、中、高校生の飲酒が急激に増加している。
	2533	アダルトチャイルド	32	一般	ビデオ	従来は、アルコール依存症の親のもとで育った人の ことを言ったが、今では広く機能不全家族のもとで 育った人のことを言う。
	2534	アルコール依存症 ~回復プロセスと再発予防~	40	一般	ビデオ	回復とはすなわち、再発を防止することでもある。
	2535	薬物依存 ~孤独そして絶望からの脱出~	29	一般	ビデオ	群馬県藤岡市上日野にある民間薬物依存者回復施 設「ダルク」についての紹介。
	2536	強迫的ギャンブル回復施設 ワンダーポート	6	一般	ビデオ	ギャンブル依存症者が共同生活をしながら回復を目指 す施設「ワンダーポート」の紹介。
	2537	未成年者のアルコール	26	一般	ビデオ	未成年者のアルコールについて
	2538	出所後の道しるべ ~薬物を使わない新た な人生に向かって~	62	一般	DVD	ダルクの紹介と出所後の流れについて。
	2539	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用は脳を破壊する！	15	一般	DVD	薬物乱用防止の普及啓発。
	2540	“依存症”からの回復 第1巻 “依存症”とは何か	59	一般	DVD	依存症の正しい理解について。
	2541	“依存症”からの回復 第2巻 回復への道	67	一般	DVD	依存症からの回復のために必要な支援について。
	2542	“依存症”からの回復 第3巻 家族を支える	63	一般	DVD	家族が陥りがちな悪循環の構造を読み解き、回復へ の道を探る。
2543	あなたの大切な人とお酒の関係 アルコール依存症の理解と対応	24	一般	DVD	アルコール依存症の理解とその対応について(保健所 等での相談対応の手法等)	
心理 ・ 面 接 技 法	2601	自立訓練法の実際	30	一般	ビデオ	心身をリラックスし、調整する、セルフコントロール法の実 際を分かりやすく解説したもの。
	2602	リラクゼーションの実際	19	一般	ビデオ	筋弛緩法(生理的な緊張を解き、心理的な安静を得ようと するもの)
	2603	続リラクゼーションの実際	17	一般	ビデオ	筋弛緩法を実行してうまくいかない人のためのA-B-A方 式の解説。
	2604	箱庭療法の基礎理論	19	一般	ビデオ	砂箱と色々なミニチュアを使って行われる心理療法を解 説。
	2605	絵画療法 (1)	20	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、患者の方から描いたもの。
	2606	絵画療法の理論 (2)	24	一般	ビデオ	その場で描いてもらう方法と、あらかじめ描いて持ってき てもらう方法がある。
	2607	絵画療法の症例研究 (3)	32	一般	ビデオ	心身症と離人症を呈した患者が、絵画療法によって立ち 直った例を、医師の方から描いたもの。
	2609	ケースの心をとらえる面接！	23	一般	ビデオ	どのような方法で面接を行えばよいかを教示している。
	2610	ケースの心をとらえる面接！！	27	一般	ビデオ	就職を目前にした大学生に対するカウセリングの仕方を教 示している。
2611	ロールシャッハテスト	30	一般	ビデオ	インクのしみで出来たカードを被検者に見せ、それぞれの カードに示される様々な反応を記録、検討して被検者の 性格や人格像を見極める。	

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオDVD	内容
心理 ・ 面 接 技 法	2612	心理療法としての箱庭と子供への適応の方法	51	一般	ビデオ	カルフ婦人が、子供が勉強で離れた心を癒すために、箱庭療法を行いに来る。
	2613	フェイス トゥ フェイス 1巻 ～マイクロカウンセリング	24	一般	ビデオ	他人とうまく付き合っていくための技法を、マイクロトレーニングという方法で教示する。
	2614	フェイス トゥ フェイス 2巻 ～積極技法ほか～	26	一般	ビデオ	いいかえと要約、感情の反映、フィードバック、積極技法。
	2615	フェイス トゥ フェイス 3巻 ～技法の統合ほか～	29	一般	ビデオ	焦点のあて方、主張、不一致と複雑なメッセージ、技法の統合。
	2616	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 モジュールの構成	24	一般	ビデオ	アメリカの精神科医師が、精神障害者の自立生活技能モジュールを開発した。
	2617	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 導入とビデオを用いた質疑応答	20	一般	ビデオ	導入…技能領域の学習への適切な導入のやり方を教示。ビデオを用いた質疑応答…ビデオを用いながら、適切に質疑応答を行う方法を教示。
	2618	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 ロールプレイ	46	一般	ビデオ	ロールプレイの適切なやり方を教示。
	2619	自立生活技能(SILS)プログラム デモンストレーション編 実地練習ほか	56	一般	ビデオ	日常生活の中で、実際にやること。
	2620	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 服薬自己管理モジュール	63	一般	ビデオ	抗精神病薬について知る、正確な自己服薬と評価の仕方を知る。薬の副作用を見分ける。
	2621	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 基本会話モジュール	42	一般	ビデオ	コミュニケーションの言語的要素と非言語的要素。
	2622	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 病状自己管理モジュール	51	一般	ビデオ	再発の注意サインを見つける、持続症状の対処方法を学ぶ。
	2623	自立生活技能(SILS)プログラム モジュール編 余暇のすごし方モジュール	23分	一般	ビデオ	レクリエーションの効果を明確にする。(ジョギング、水泳、バレーボール、映画、動物保護施設でボランティアなど)
	2624	パニックディスオーダー 6人の患者	9	一般	ビデオ	次のようなパニック障害がおきる人がいる。(突然の発症、呼吸困難、窒息感、めまい、吐き気、嘔吐など)
	2626	行動療法的家族指導(BFM) ～治療技法の実際編～	53	一般	ビデオ	BFMは精神病患者とその家族が、生活上のストレスを減らすため、自分たちの対処技能を効果的に使えるように導くものです。
	2627	こころを育むストレスマネジメント技法	40	小・中・高・一	ビデオ	ストレスマネジメント教育で気持ちの切り替えがうまくなる。ストレスに強くなる。
	2628	学校におけるストレスマネジメント教育	34	一般	ビデオ	学校におけるストレスマネジメント教育の可能性について探る。
	2629	生きる力を創る ～SSTの倫理と実際～	47	一般	ビデオ	SSTとは認知行動療法。(指導者が学習促進を援助する)
	2631	面接への招待	59	一般	ビデオ	電話によってインテークと訪問による面接を通して、相談援助面接の一つの事例を紹介。あらゆる領域で働く対人援助職者が、応用可能である。
	2632	面接への招待	60	一般	ビデオ	核心をはずさない相談援助面接の技法を紹介する。
	2633	ひきこもり完全脱出マニュアル 第1講 初級入門編 こうすれば子どもと対話ができる。	60	一般	ビデオ	ひきこもりに対応するには、親と子の意思疎通が重要である。対等の関係を保つ。

分類	番号	題名	上映時間	対象者	ビデオ DVD	内 容
心理 ・ 面接 技法	2634	ひきこもり完全脱出マニュアル 第2講 ケーススタディ編 不登校とひきこもり	60	一般	ビデオ	ドラマ仕立てで事例を再現し、不登校状態をひきこもり状態へと深刻化させず、脱却させるための、家族、教師の心構えを解説。
	2635	ひきこもり完全脱出マニュアル 第3講 思春期対応編 精神的症状とひきこもり	45	一般	DVD	強迫性障害のお子さんを抱えた家族を事例に、ひきこもりに多い各種精神症状とその対応について、再現ドラマをもりこみながら斉藤環氏が解説。
	2636	ひきこもり ひきこもりに対する正しい理解	7	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2637	ひきこもり 支援の実践にあたって	43	一般	DVD	
	2638	ひきこもり 検証・支援現場～民間編～	39	一般	DVD	2003年から2004年にかけてNHKで放送された『ひきこもりサポートキャンペーン』の内容をもとに制作されたビデオ。
	2639	ひきこもり 検証・支援現場～公的機関編～	35	一般	DVD	
	2640	実録・家族療法 1巻 「心理教育アプローチ」に基づく家族面接	61	一般	DVD	3人のセラピストによる家族面接ドキュメント
	2641	実録・家族療法 2巻 「力動的療法」に基づく家族面接	68	一般	DVD	
	2642	実録・家族療法 3巻 「システムアプローチ」に基づく	872	一般	DVD	
	2643	実録・家族療法 オリエンテーション編		一般	DVD	
2644	認知行動療法 べてる式	95	一般	DVD	べてるの家の幅広い活動を(認知行動療法)という視点から切り取って紹介。	

位置図



こころの健康センター所報 第38号

平成28年12月発行

石川県こころの健康センター
〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目6番地
電話 (076) 238-5761
FAX (076) 238-5762

ホームページ

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/kokoro/top.html> (こころの健康センター)
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/fukusi/kokoro-home/hattatu/top.html> (発達障害支援センター)